

あかぬ

第六十号 令和四年



あかね

第60号

▼ 集う・学ぶ・味わう	▼ 資料提供のお願い
▼ 母校だより	▼ 会費納入のお願い
▼ あかねの窓	▼ 令和3年度会計報告
▼ 第69回総会での報告事項	▼ 校歌
44	60
43	48
34	47
33	46
28	28
26	26
24	24
21	21
19	19
18	18
12	12
10	10
5	5
4	4
3	3
2	2

東西南北「夢のしじま」

恩師を偲んで

会員著書紹介

部活OB会だより

硬式野球部OB会／北山の会(京都一中 鴨沂高校・洛北高校山岳部OB会)
京一中・洛北高あかねゴルフ会／洛北スキーOB・OG会／新聞局 局友会

支部だより

北海道支部／東北支部／関東支部／東海支部

学年会・クラス会だより

洛北高校編

特集

『あかね』復刊から60年〜想いと歩みをたどる〜

【案内】京一中150周年・洛北高校70周年 記念祝宴を開催！

京一中150周年・洛北高校70周年 記念事業報告 記念式典を開催！

特別寄稿

校歌の詞章を大切に…

●前校長／山本康一

巻頭言

戦禍の国に伝統への誇りを想う 「うあひやう」

●会長／高坂節三(洛北4期) ●特別顧問／川口浩文(校長)

新型コロナウイルス感染状況は
 いまだ予断を許さない状況ではございますが
 当同窓会では、記念年(2020年)から延期しておりました
 「京一中150周年・洛北高校70周年記念祝宴」を
 下記の通り開催いたします。
 感染対策を十分にお取りいただいた上で
 昨年(2021年)の記念式典をさらに上回る盛会となりますよう
 奮ってのご参加をお願い申し上げます。

京一中150周年・洛北高校70周年記念祝宴

日時
 令和4年12月11日(日)正午から
 (受付開始 午前11時30分) ※第69回同窓会総会を
 祝宴の前に同一会場で行います

場所
 京都ホテルオークラ4階 大宴会場「暁雲」
 京都市中京区河原町御池

会費 6,000円(コース料理、ドリンク付き)
 ※介助の方は同窓会員でなくてもご参加いただけます
 ◎会費は事前にお振り込みをお願いいたします。
 ※詳しくはP10～11をご覧ください。

題字「あかね」揮毫 表千家 久田宗也(昭和17年卒・故人)

COVER
表紙



日比野光鳳
京一中昭和22年卒

【作者略歴】1928(昭和3)年11月22日 京都市上京区に生まれる。京極小学校・京一中を卒業後、同志社大学に進学。1965年、酒造メーカーの課長時代に、父日比野五鳳に再入門し本格的な書家として進路を変更。1975年日展特選。1997年日展内閣総理大臣賞。1999年日本芸術院賞。2008年芸術院会員に就任し、2011年文化功労者に顕彰される。2021年旭日中綬章受章。

【作品解説】かな書という分野は、日本人が日本語で書き記した和歌や俳句を題材とする。それゆえ、その意味するところや感性には、その時々々の日本の姿が表される。本作は正岡子規が京都滞在中に詠んだ俳句『祇園清水 冬枯もなし 東山(祇園や清水という雅な感覚は、東山の木々が葉を落とした冬であっても枯れることはない)』という、和の心、京の風情を表したものである。父光鳳はその世界観を壊さぬよう、どなたにでも読んで感じていただけるような平易な表現に仕上げた。(洛北27期 日比野博鳳)

京一中洛北高校同窓会

〒606-0851
 京都市左京区下鴨梅ノ木町59
 (京都府立洛北高等学校内)
 TEL&FAX 075-712-0375
 E-Mail dousokai@kyo1c-rakuhoku.com
 URL https://kyo1c-rakuhoku.com

同窓会ホームページ

京一中150周年・洛北高校70周年 記念祝宴開催のお知らせ

戦禍の国に伝統への誇りを想う

『私達はヨーロッパ人である。
私達は極めて美しい国に住んでいる、
私達は伝統を守り続けている、
私達は自分の国の歴史に誇りを持っている、
私達は教育し、働いている、
私達は勝つことができる、
私達は自分の国を建設している』



旧ソビエト連邦から独立(1991年)以降、自国の歴史に誇りを持って、
新たな国づくりに邁進しているウクライナ政府が、外国向けに出版した「ウ
クライナ紹介写真集」にある
キャッチフレーズである。こ
こにあるように、小国ウクラ
イナは大ロシアの攻撃に対し、
「ヨーロッパ人として、自らの
伝統を守り、歴史に誇りを持っ
て、自らの国を守り、建設する」
強い覚悟で戦っていることが
理解できる。
戦闘の様子をテレビで見
ていると、第二次世界大戦の頃

を思い出す。1945年3月10日に、一晩で10万人が亡くなったといわれ
る東京大空襲があり、東京に住んでいた家内は、「蒲団を抱えて防空壕に
身を寄せようとしたが、足が震えて動けなくなつて、町内の方に連れて行っ
てもらった」と話している。恩師、西田幾多郎先生を鎌倉のご自宅に訪問
中だった父は、赤く燃え盛る東京の空を眺めていた。「焼け野原になつても、
根が残っていたら木々は必ず芽を吹き成長する。あなたたちは、しっかり
勉強しなさい」と西田先生から言われたと、母から聞かされた。

駐ウクライナ大使として2005年に赴任した馬淵睦夫氏は投稿論文『日
本の鏡ウクライナー日本への熱い期待』の中で、「ウクライナの学校教育では、
小学校5年生で松尾芭蕉の俳諧が、高校2年生で川端康成の『千羽鶴』が
必須教材として取り上げられている。ウクライナの学習指導要領によれば、
これらの日本文学を通じて日本人の国民性を学ぶことにより、ウクライナ
とは違った文化を持つ日本および日本人に対する尊敬の念を養うとされて
いる。ここには、いわゆる一神教的価値観を超えた多文化主義、文化平等
主義の思想が窺える」と述べている。

日本に親近感を持ち、地政学的にもわが国と似たような環境にあるウク
ライナに対し、われわれもまた、彼らのように他国の文化に対する敬意を
忘れず、自らの伝統を守り、歴史に誇りを持って支援の手を差し伸べたい
と思う。

特別顧問 川口浩文 (京都府立洛北高等学校・附属中学校校長)

ごあいさつ

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大な御理解と御支援を
いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

今春の人事異動により山本康一前校長の後を受け着任しました。校長室
にかかる洛北高校校歌は、作詞者の吉川幸次郎先生の直筆で、

真理をおもう ひとみいくばく
ここにむれ ここにつどえば
めじとおく くもはゆきかい

と柔らかく語りかけてきます。京一中から続く自由と責任を重んじる恵ま
れた環境の中で、友とともに学び、各々の真理に向かおうとする若人の姿
を思い浮かべ、歴史と伝統に満ち、府民の大きな期待を担った洛北高校・
洛北高校附属中学校の校長としての責任の重さを感じているところです。

さて、今春の高校卒業生は2年に及ぶコロナ禍の中でも、個々の生徒が
前向きさを失わずに入試に挑戦し成果を上げました。東京大学に2名、京
都大学に11名、国公立大医学科に7名と、最難関大に多く合格し、ハイレ
ベルな実績と思考・表現力等が共に求められる東京大学推薦入試・京都大
学特色入試にも合格者が出ました。京都大学合格者には昨年度に続いて普
通科文理コースの生徒も含まれ、同コースからは初めての国公立大医学科
合格者も出ました。文理コースの国公立大合格者数は52名で、進学者はコー
ス在籍者の3割強を占め、普通科として出色の成果が続いています。

昨年度末まで第4期の指定を受けていたSSHについては、これまでの



取組の成果と新たな発展性が認められ、
4月から全国でもほとんど例がない
第5期目の指定を受けることとなり
ました。また、部活動等では、女子
ハンドボール部が3月の全国高等学
校選抜大会で14年ぶりの全国制覇を
果たし、6月には男女ともインター

ハイの出場を決めました。また放送部はNHK杯全国高校放送コンテスト「創
作テレビドラマ部門」で京都府1位となつて全国大会に出場します。他に
も多くの部活動が高いレベルで活躍しており、中学校でも弓道部と陸上部
が夏に全国大会に出場します。

コロナ禍による生活の一変、砲弾による生活の破壊や生命の喪失といっ
た歴史的な出来事が相次ぐ「今」に、平和で安心・安全が保たれた日常の
尊さを改めて想い、生徒が自他を尊重しながら充実した学校生活を過ごし、
個々の学力と人間性を高めていけるよう、微力ながら力を尽くす所存です。
「府立学校特色化応援ファンディング事業」という寄付事業を本校ホー
ムページで御案内しています。御支援賜りましたらありがとうございます。
末筆ですが、同窓会の皆様の更なる御健勝・御活躍を祈念申し上げます。

前特別顧問 山本康一

校歌の詞章を大切に：

前京都府立洛北高等学校・附属中学校校長
※校長在任期間 平成29年4月～令和3年3月

平成28年度府教委の高校教育課長であった小職は、前川洛北高校校長(当時)とともにSSH第4期申請のため文科省のヒアリングに臨んだ。前川校長の思いが通じ、5年間のSSH指定がなかった。翌年度、前川校長は府教委の教育監に昇任され(本年6月より府教育長)、小職は全く予期せず洛北高校(兼附属中学校)校長に任命された。重責に震えた。

小職のミッションは「文武両道」「探求・課外活動」等、生徒がやりたいうことを存分にやれる伝統を踏まえつつ、「普通科の募集状況と進学実績の向上」「新学習指導要領への対応」「SSH第4期の充実と第5期申請の準備」「創立周年行事の成就」と心を構えた。はからずも5年の長きにわたってお世話になったが、当初は「2年が勝負」と思い、やや強引な学校経営であったかもしれない。当時、「創立周年行事」は3年後とうかがい、準備だけはしっかりとしようと思っただけ、そのほとんどを高坂会長・木下委員長はじめ同窓会の皆様にお世話になった。延期も含めた長期間、COVID-19対応の紆余曲折のたびに、学校の事情を柔軟に受け止めていただいた。最終的にはオンラインで日米をつなぎ、リアル参加しなくても視聴できる、同窓会ならではの新しく素晴らしい方式となった。卒業間もない同窓生も活躍した。並行して「OBOGセミナー」も開催していただき、「京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ」というテーマは完遂されたと思う。

COVID-19以前には、理事会や総会(懇親会)にも参加した。東京五輪を目指す上田藍選手への激励と、新しく始まった「京都府母校応援ふるさと事業」協力依頼のため「東京の集い」にも参加した。いつも、みなさんの母校愛が熱く、渾身会(?)ともいうべきものであった。韓国から旧縁ある大田(テジョン)高校幹部の来校もあった。同窓会や会と縁のある方々の人材の豊富さにはいつも驚かされる。戦時下を含め、教育の胎動と変革の時期を経験し、社会を支える人材を輩出してきた京一中・洛北高校。現在、日本の人口が減少する中、やはり、有為な人材の育成が求められている。文武両道を実践する洛北高校は、まさにその一端を担っている。

「徒らに去にし繁栄に憧憬(あこが)れて行手忘るゝものならじ…」(京一中校歌)「うつくしき世のために、まことある世のために…」(洛北高校校歌)着任当時校歌の詞章に心を打たれ、そういう人材を育成したいと思った。今後、歴史と伝統を誇り、進取の気性と気概を有する人材を輩出する学校であってほしい。同窓会の皆様には衷心より御礼申し上げますとともに、今後も母校に旧倍のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



京一中150周年・洛北高校70周年 記念事業報告



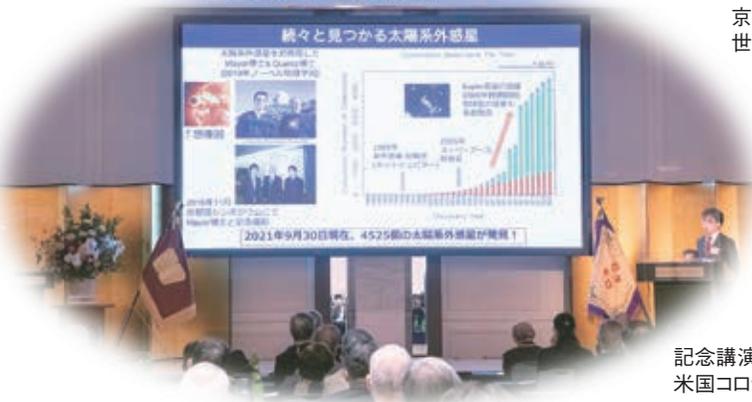
記念式典を開催!

～京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ～

2021年10月16日、京都ホテルオークラにて「京一中150周年・洛北高校70周年」記念式典を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために記念事業のすべてを見送らざるを得なかった記念年の2020年。1年を経て開催がかなった式典会場には、京一中の卒業生から洛北高校卒業生、在校生まで約160人が集い、記念年の喜びを再認識。世代をつなぐメッセージや壮大なテーマの講演に聴き入り、母校の歴史と未来に思いを深めました。また式典の様子は同窓会ホームページからオンライン配信され、全国各地の卒業生をはじめとする母校関係者の多くがリアルタイムで視聴、祝賀の感動をリモートで分かち合いました。



記念年から1年を経て開催された式典。
京一中から洛北高在校生代表まで
世代を超えて同窓生が集った



記念講演は「宇宙への誘い」をテーマに
米国コロラドからの生中継もまじえて

○ 記念講演「宇宙への誘い」

はやぶさが開く小天体サンプルリターン



元「はやぶさ」科学リーダー
藤原顕さん(洛10)



講演要旨

1980年代、太陽系起源の理論的な研究の発展に伴って太陽系の始原的痕跡を残していると思われる小惑星などへの関心が高まった。そして地球に接近する小惑星の中から代表的な反射スペクトル型をもつ小惑星を選んで表面から試料を持ち帰り、分析するという、「はやぶさ計画」がスタートした。2003年小惑星イトカワへ向かって初号機が打ち上げられた。前人未踏の困難なミッションだったが、微量ながらも試料が得られた。私は計画段階から現地での観測を終えるまで、科学責任者として観測計画、試料採集装置などの開発、持ち帰られる試料の分析計画などに携わった。その後、小惑星リュウグウに飛んだはやぶさ2号は完璧にミッションが遂行され、構想から約27年たって、目論んだとおりに小惑星試料が得られた。今回の試料は最も太陽系初期の情報を含んでいるようであり、詳細分析結果が楽しみである。いよいよ本格的な宇宙試料による太陽系の起源の研究の時代に入るとともに、宇宙生物学にも手が届くようになってきた。

理論計算とアルファ望遠鏡観測による惑星形成

講演要旨

「太陽系や太陽系外の惑星はどのように作られたのか」「惑星が作られる現場で、水や有機分子がどのように作られ、地球の様な惑星に供給されたのか」などの問いに答えるべく、高解像度のアルマ望遠鏡による観測や大型計算機による理論計算で研究を進めている。太陽系の外では1995年以降4,000個以上の惑星が発見されている。今後小惑星リュウグウなどのサンプルの化学的な解析が進むのに併せ、惑星形成の現場である原始惑星系円盤の化学構造との比較研究も進むことで、アミノ酸などを含む複雑な有機分子がどのように作られ惑星へと供給されたのか、太陽系外の惑星系も含め理解がより進むと期待される。



理化学研究所 坂井星・惑星形成研究室 研究員
野津翔太さん(洛59)

探索で迫るスーパーフレアの謎

講演要旨

太陽などにおけるスーパーフレア（巨大な爆発現象）が、地球やその他の惑星にどう影響するのか、星の明るさや木の年輪などさまざまな観測手法を使って迫っている。太陽ではフレアと呼ばれる爆発現象が多数発生していて、過去最大といわれるキャリントン・フレアの時のように、大きなフレアは大規模な停電や通信システムの被害など社会生活に大きな打撃を及ぼす可能性がある。46億年前、太陽ではスーパーフレアが頻発していたとされ、地球がいかにスーパーフレアを落し抜けてきたのか、興味深い共同研究が進んでいる。



米国コロラド大学ボルダー校 研究員
野津湧太さん(洛59)



地域における役割から会場のOBまで、
母校の歴史と文化に幅広く触れた
来賓の西脇隆俊京都府知事



両校の校歌を引用して母校の意義と
目標を述べた
山本康一洛北高校・附属中学校校長



母校の歴史と多くのOBの功績を紹介し
「温故知新」を掲げて高坂節三会長が
開会の挨拶

○ 京一中OBから洛北へつなぐメッセージ

「贈る言葉 -新しい時代を開こう!-」



京一中昭和18年卒の稲垣真美さん

小学校から今まで文学を志してきたが、きっかけとなったのは京一中の先生の言葉だった。当時、苦しい時には親切に物を言ってくれる友人たちがいて有難かったが、彼らは京都の商店の、いい意味での個人主義という「自由」を身に着けた子供たちだった。在校生は自分が好きだからとか、ひょっとしたらなれるかな、という「思い」を大事にしてほしい。私の「思い」は文学だったし、まだこれからやっつけようと思っている。

鳩居堂第十代当主である私の祖父そして父、親子三代が同じ学び舎で学んだ。幕末の京都でもコロナのような伝染病が流行し、私の先祖など京都の町衆が一致団結して切り抜けてきた歴史がある。それぞれの人が矜持を持って京都の町をつくっていった。在校生の皆さんは好奇心を旺盛にして、素敵なものを見つけて自分を信じて邁進してってください。



洛北高校31期生の熊谷かおりさん

在校生からのメッセージ

いま洛北で高い水準の授業を受けられ、勉学をはじめあらゆる自由が保障されている。ペンや剣を握り、戦ってくださった先輩方に敬意を表し感謝を伝えたい。洛北の伝統と誇りは重荷でもあるが、未来へ導いてくれる切符でもある。何十年の後、この記念式典の場に胸を張って戻ってこられるよう、在校生一同頑張っています。



在校生代表、洛北高生徒会会長の
ひかる
小島輝さん



握手の代わりにグータッチで
絆をつないで

○学内イベント

OBOGセミナー『きみたちに伝えたいこと』 2021年 10月22日~12月15日



ニューヨークの弁護士事情を語る上野さん

学術からスポーツ・芸術・ビジネスなど各界で活躍するOBOGたちが、懐かしの母校で特別レクチャー。コロナ禍で4講座が中止となりましたが、10月以降7回にわたって将来の夢や進路につながる情熱とヒントにあふれたお話をさせていただきました。

月日	講師名(敬称略)	卒業回	所属・職業
※9/3	桂 ちようば (大倉 正裕)	洛46	落語家
※9/8	今堀 博	洛29	京大大学院工学研究科 分子工学専攻
※9/10	加藤 理恵	洛63	ソフトバンク(株) グローバル事業本部
※9/22	森本 淳子	洛40	北大大学院農学研究科 生態系管理理学研究室
10/22	味方 玄	洛34	能役者
10/27	羽淵 友則	洛29	秋田大学大学院医学研究科 腎泌尿器科
11/5	河本 宏	洛29	京大再生医科学研究所 再生免疫学分野
11/19	早藤 昌浩	洛30	世界貿易機関(WTO) 貿易制作審査部
11/26	上田 藍	洛51	トライアスリート リオデジャネイロ五輪代表
12/10	伊砂 正幸	洛33	伊砂文様研究所 日展所属作家(型絵染)
12/15	上野千津子	洛23	弁護士(ニューヨーク州)

※ 新型コロナ緊急事態宣言下のため中止



ジュネーブの早藤さんにリモートで質問

「目で見てナットク! 京一中と洛北高」展 2021年 11月15日~19日



資料に基づいて 京一中の給食メニューを再現展示



同窓会所蔵の写真や会誌、寄贈品などを、ファッション・昼食事情・修学旅行などテーマごとにパネルや現物資料で構成。期間中のべ300人の在校生が来場し、京一中の難しい試験問題や兎狩り、仮装行列といった珍しい写真や記事に見入る姿が見られました。



湯川秀樹14歳の寄稿文や実験器具なども



京一中席には御年100歳の豊饒たるOBの姿が



「比叡の峰にあかねさす……」京一中校歌を斉唱



式典アナウンスは 放送局OGの平田杏薫さん(洛69)



「千年の森かげに……」 洛北高校校歌を斉唱



閉会にあたり4年にわたる事業を総括し 祝宴への気運の盛り上げを呼びかけた 木下博夫記念事業実行委員長



- OBOGセミナーと資料展示については同窓会HPにも掲載しています
- ◆ このほかの記念事業についてはP47をご覧ください。

- この後、第68回同窓会総会が同一会場で行われ、滞りなく終了しました。 詳細は「あかね」第59号(前号)P50~51をご覧ください

明日へと向かう気持ちを育む

みなさん、お元気でお過ごしですか。

「京一中150周年・洛北高校70周年 記念祝宴」を2022年12月11日(日)に京都で開きます。「京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ」という壮大なテーマで取り組んできた一連の記念事業を締めくくる取り組みです。

ご承知のとおり、われらが母校は日本で最初の旧制中学である京都府中学が母体であり、日本で唯一、複数のノーベル賞受賞者が生まれ、多方面に多くの人材を輩出してきました。現在でも文化、芸術、スポーツをはじめ、活躍は継承されています。まさに、その自由な校風による多彩な才能の発揮が脈々と続いています。

同窓会活動は世代を超えて互いを敬い、励まし合い、そして次の世代を応援するものであります。旧交を温めあうと同時に、卒業生同士が結びつき、誇りをもって明日へと向かう気持ちを育む。今回の祝宴は、そんな機会としたいと思います。

ぜひ多数の卒業生の方々のご参加をお待ちしています。

京一中洛北高校同窓会 会長 高坂節三
記念事業実行委員会実行委員長 木下博夫

プログラム

- 観世流能楽師シテ方、浦田保親さん(洛北35期、無形文化財保持者)による**祝舞の披露**
- 洛北高校吹奏楽部による
記念序曲「洛北幻想 葵 -Aoi-」の演奏(ビデオ上映)
- シンガーソングライター原田博行さん(洛北35期) 作詞作曲による**記念歌の合唱**
- 歌手、五条哲也さん(本名・加藤哲也、洛北39期)による**模範歌唱** ほか



浦田保親さん



原田博行さん



五条哲也さん

公開収録のお知らせ

祝宴ビデオ上映のための母校吹奏楽部による記念序曲「洛北幻想 葵 -Aoi-」の**事前収録**を行います。鑑賞ご希望の方は同封ハガキあるいは同窓会HP(お問合せ頁)でお申し込みください。

日時 2022年11月20日(日) 午後2時開演

会場 京都市東部文化会館(山科区)
(地下鉄東西線榊辻駅下車 徒歩7分)



京一中150周年 洛北高校70周年 記念祝宴を開催!

～京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ～

本年12月、「京一中150周年・洛北高校70周年」記念事業のフィナーレとして下記のとおり記念祝宴を開催いたします。記念事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大のために中止や延期を余儀なくされましたが、昨年10月には無事、盛会のうちに記念式典を開催することができました。母校の伝統をかみしめた記念式典の成果を踏まえ、記念祝宴では多方面で活躍されている卒業生や現役生徒の皆さんによるイベントを企画しています。

「京一中の歴史をつなぎ、洛北の夢をつむぐ」のテーマのもと、多彩な人材を育んだ母校の校風をあらためて実感していただき、同窓会の新たな一歩としたいと思います。

何とぞお誘い合わせの上、多くの卒業生に参加いただきますよう、ご案内申し上げます。



日時

令和4年(2022年)12月11日(日) 正午から

(受付開始 午前11時30分) ※祝宴の前に同一会場で第69回総会を行います。

場所

京都ホテルオークラ4階 大宴会場「暁雲」 京都市中京区河原町御池

会費

6,000円(コース料理、ドリンク付き) ※介助の方は同窓会員でなくても参加いただけます。

◎会費は**事前お振り込み**をお願いいたします。

◎出欠を11月11日(金)までに同封ハガキか同窓会HP(お問合せ頁)でお知らせください。

会場では入口での消毒設備など感染予防対策をいたしますが、マスク着用などご協力をお願いいたします。

『あかね』復刊から60年

～ 想いと歩みをたどる～

母校の卒業生相互をつなぐ同窓会誌「あかね」が、京一中同窓会誌の復刊として発行されたのは、1963年（昭和38年）10月のことでした。第1号の発行部数は15,000部。以来、毎年1号のペースで発刊、今年で60号を数えます。当初A5判だった冊子は40号を機にB5判へと大型化し、さらに誌面はオールカラーに。内容も時事的な話題や企画性に富んだ特集、在校生の登場など充実、進化を遂げています。支えていただいた多くの卒業生読者、同窓会員への感謝と将来への抱負をこめて、「あかね」の60年を振り返ります。



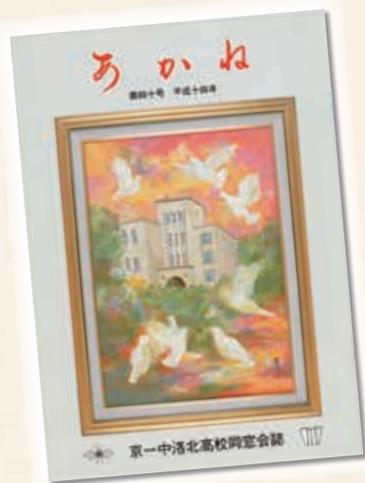
酒見恒平さん（京一中昭和2年卒）作
オールドボーイらしく吉田の旧校舎を

目次	
写真、洛北高校……	1 随 想
挨拶……	2 物憶え……洛2回卒 北川 盛一 25
会誌発行への道……	4 無 題……洛7回卒 小林 克彦
会誌復刊によせて……	6 タンゴの随想……洛8回卒 大西 傑
過去の思い出……	7 理事になつて……
一中回想……	8 セイロン島……昭17年卒 伊藤 大寛 27
藤 藤……	10 嵯峨を往く……洛6回卒 山田 恭子 35
職員時代の思い出……	13 東海支部長就任の挨拶
今春母校を去つて……	箕田 正武 ……明45年卒 木村 廉 36
	松本 泰蔵 ……母校だより…… 37
	藤森 完治 ……母校教職員移動……
	小川 広夫 ……会務報告…… 39
	各地だより…… 40
わが郷土を語る	
福岡より……	16 京浜支部・東海支部・舞鶴支部
金沢より……	18 石川県京一中会・京一中クラブ
「あかね」の由来……	18 京一中洛北クラブ（東京） 阪神・京中クラブ
私のこのごろ……	19 昭4年卒 島 一綱
「京都とお色気」……	20 明42年卒 戸野 琢磨
旅日記	
北海道を旅行して	
	21 洛8回卒 山下紀代子

あかねの由来

誌名を如何にするかは、大きな問題であつて、戦前の「同窓会誌」では何か堅固しい感じがするので、素晴らしい誌名を考えた結果が、この「あかね」となつた。
京一中の卒業生には、校歌の「比叡の峰にあかねさす……」と最初にある言葉であり、懐かしく、身近かに母校を感じるにちがいない。然し、洛北高校卒業の方には、或はこの様な直接的な親近感が無いかも知れないけれど、麗峰比叡の峰を、春夏秋冬校舎の窓から、校庭から眺めた、あかね色に照り映える比叡山には、必らず想い出が多い事と思つた。
あかねとは元来アカネ科に属する茜或は茜草と称する野草であつて、その根は古来染料として使用されて居た。この根が赤色の為め、染め上つたものをあかね色と言つたのである。
実際にあかね草で染め上つたものを現代では、仲々見られないが、一種の赤紅色なのである。
そしてこのことが、陽の光を表す言葉の枕ことばとしてあかねさすとなつたものであり、陽々たる日光、照り輝く光線をあらわしている訳である。
前途洋々たる母校、同窓会。そして会員諸君を、端的に表現したあかね……これこそ、同窓会誌として誠にふさわしく、将来を約束する誌名であると信じている。

「あかねへの思い」 西島元会長のことば



表紙は三輪晃久（洛北2期）作「母校永永」

2万2千人を超える同窓会メンバーの一人ひとりをつなぐ絆は、この同窓会誌「あかね」です。また、記念事業の一つとして、整理された「あかね」のバックナンバーを繰っていると、時を越えて母校の息吹が感じられます。

「あかね」をこの機会に装いを新たに、同窓会の活動報告のみでなく、同窓生の語り合いの場、先輩と後輩との出会いの場、そして、伝統の校風を継いで、現在が将来に思いを伝えるメッセージとして、さらに充実しよう……（中略）……この「あかね」が同窓会の皆さまに読まれ同窓会のすべてのメンバーの集まる広場、そして、世代を越えて力強く活きつづける談論風発のフォーラムとなるようにと願っています。

「装い新たなあかねに託す思い」より

会長 西島安則（京一中昭和19年卒）
「あかね」第40号 平成14年（2002）刊行

※文章表記は原文のまま

第40号から冊子はA5判からB5判に大型化、題字「あかね」も久田宗也（昭和17年卒、表千家不審庵宗匠）の揮毫により一新されました。

「あかね」でしか読むことができない、「あかね」ならではの特集企画や寄稿、記録記事の数々。全59冊から、一部をピックアップアップしてみました。懐かしい同窓生、恩師の想い、興味あるテーマの記事へは、同窓会ホームページからもアクセスできます。

よみがえる京一中時代

草創期の「あかね」には、京一中の先輩たちが随筆や紀行文、俳句や短歌などを寄せられています。第1号目次(12頁)の卒業生による記事のうち約半分が京一中OBによるもの。京一中在職時代を振り返り、懐かしむ先生方の寄稿の多さも目を引きます。第5号には西堀榮三郎が京一中時代の恩師である金井千仞先生と森外三郎校長との出会いを語った、テレビのインタビュー記事「我が師を語る」といった珍しい記事も見られます。

「京一中・洛北高校 今昔放談」と称する座談会の記事が載せられたのは第3号。顔ぶれは京都大学総長の奥田東(大正12年卒)、福井大学学長の藤野清久(大正9年)同窓会顧問の荒木益次郎(旧職)、渋谷有教理事長といった方々に二人の理事を交えているところが母校らしさでしょうか。学生気質の違いや吉田校舎時代の思い出を当時の洛北高の現状とも比較しながら話されています。

第5号から、京一中100周年・洛北高校20周年を迎える第8号までは、京一中と洛北高の校舎外観や恩師の集合写真、学校生活など母校の歴史を物語るさまざまな写真が毎号、巻頭を飾ります。なかには明治37年頃の野球選手のユニフォーム姿、下立売校舎の前景や実弾射撃練習風景といった希少な写真も(第6号)。京一中時代の歴史資料として貴重なものと言えるでしょう。

知られざる湯川秀樹・朝永振一郎

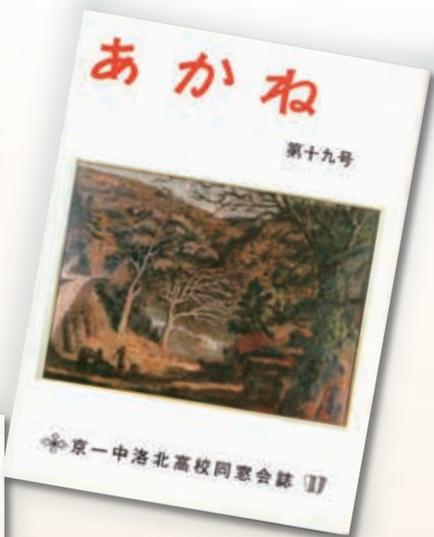
日本で唯一二人のノーベル賞受賞者が学んだ京一中。湯川・朝永両博士にまつわる特集やトピックスは、「あかね」誌面を輝かせるものとして欠かすことができません。とりわけ他のメディアでは取り上げられないことのない、知られざる素顔やエピソードを知ることができるのが、同窓会誌ならではのと言えます。

生誕100周年のメモリアル・イヤーである平成18年(2006)から翌年にかけては11ページ余りにわたる特集記事が生まれ(第44号)、お二人の京一中時代から三高、さらにその後の経歴を詳細に記述した後輩の片岡宏(特別科学学級第一期)の寄稿や、洛北高校新聞部員が昭和25年、受賞後の湯川博士に単独インタビューを果たしたこと、昭和45年の「京一中100周年・洛北高校20周年」における湯川博士の記念講演の様子について掲載。湯川家提供による詰襟姿の湯川博士や旅先で三高同窓生たちとくつろぐ両博士など、ほかでは見ることができないオフショットもまじえた、読みごたえのある内容となっています。この号では塩見均校長の巻頭言でも朝永博士のエピソードが綴られています。

続く45号では「朝永・湯川博士と同級生」というユニークな記事を企画。京一中時代の両博士の同級生だった「広辞苑」の編者、新村出の長男・新村猛、ジャーナリストの工藤信一良、京一中教職の岡田幸一の三氏を取り上げて、ゆかりの後輩らがそれぞれの足跡と功績を記しています。

表紙を飾った卒業生たちの作品

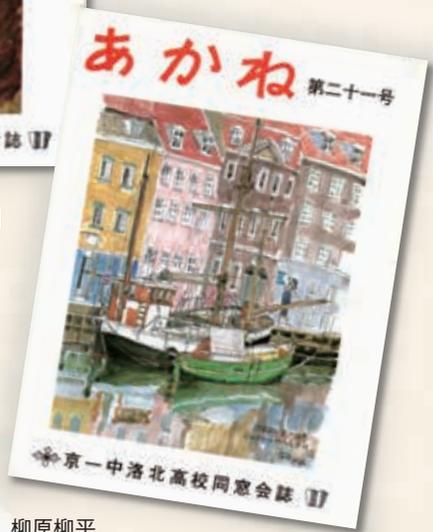
美術・アート界の偉才、異才となつた京一中卒業生による名作の数々が「あかね」の表紙を彩ってきました。



須田国太郎「早春」
(明治42年卒)



村山槐多「ひまわり」
(大正3年卒)



柳原柳平
「コペンハーゲンのニーハーン船だまり」
(昭和19年入)



太田喜三郎「栗柿実る」
(明治35年卒)



上村淳之「栗の木」
(昭和21年入)

※卒業生は敬称略

❖ 恩師は書く、描く、語る

先生方の手になる寄稿記事は第1号から掲載され、その後も長く誌面に掲載されています。退任時に書かれた京一中、洛北高の思い出をはじめ、随筆や短歌、俳句、挿絵など多種多彩。早くも第2号から「恩師抄」と銘打って、誌面の主要な要素となっていました。なかでも庄巻なのは、京一中100周年・洛北高校20周年にあたる昭和45年（1970）発行の第8号（記念号）で、ここには「母校を語る」と題して歴代校長、京一中旧職、洛北現職合わせて11人の恩師による母校への想いや思い出を収載。洛北高の青柳初代校長は、校長の任につく際の芥川一中と洛北高への校風継承への考えや、校歌作曲を芥川也寸志に依頼した時の芥川が話した貴重な言葉を記されています。さらに翌第9号には「恩師抄―懐かしい恩師の寄せられた随筆―」として、今度は母校を去られた先生方8人の、京一中と洛北へのさまざまな所感が載せられました。

美術科の先生の作品を表紙に使わせていただくこともありました。写真の第11号のほか、第31号には新見孝先生の絵画「サーカス」、第42号に京一中記念碑を制作された小野啓昌先生（現職）の彫像「それでも道はできる」を提供いただいています。



❖ 周年事業をプレイバック

「あかね」刊行後に実施された周年事業は、昭和45年（1970）「京一中100周年・洛北高校20周年」が最初で、10年ごとに「京一中130周年・洛北高校50周年」「京一中140周年・洛北高校60周年」と実施され、「京一中150周年・洛北高校70周年」も本年12月の祝宴で終了予定です。記念年およびその前後に刊行された「あかね」には、それぞれの記念事業の報告記事をはじめ巻頭グラビアの写真掲載、記念年ならではの企画記事などが掲載されています。母校の歴史の節目をどう迎え、何が行われたのか、資料としての「あかね」の存在意義がここにもあります。



京一中100周年・洛北高校20周年 記念事業グラフの頁

❖ 多才で多彩な講演記録

同窓会総会や周年事業の記念式典では、各界で活躍する卒業生に講師をお願いし、さまざまな講演を行ってきました。第22回総会は朝日放送解説委員の目下部吉彦、第23回総会はラグビー日本代表の坂田好弘、第24回は林屋辰三郎による講演でした。学界はもとより政治や経済、スポーツ、芸能、マスコミ関係など幅広い分野から登場。総会は今年で69回を数え、年に一度、専門分野で活躍中の同窓生の話に耳を傾ける貴重で楽しみな機会ともなっています。第40号以降では前年の総会講演を記録として「あかね」に掲載しています。第42号に「京都人と獨創性」（近藤次郎）第48号に「熊谷直実と私（八百年を超えて）」（熊谷かおり）第50号に「大改造！劇的ビフォーアフターの壺」（今井秀明）第56号に「『ぼけ』でも心は生きている」（高見国生）第58号に「能役者として育った私」（味方玄）などなど。母校が輩出した人材の多彩さやその活躍ぶりを次代につなぐ大切な記録となっています。

❖ 親・子・孫と「あかね」の絆

通常は記憶や噂話にとどまるだけの同窓ファミリーも、「あかね」にかかわっていただくことで長く記録として残ることになります。近刊では第58号の会員著書紹介欄で、祖父、梅棹忠夫のロングセラー「知的生産の技術」をお孫さんの梅棹レオ（洛北50期）が紹介された例などです。同窓会誌ならではの温かさが伝わると、京一中OBの方に喜んでいただきました。表紙に親子で登場いただいた例もあります。写真は人間国宝（有職織物）親子による表紙作品。



第10号 喜多川平朗（大正5年卒）「衣裳唐織の一部」（右）
第46号 喜多川俵二（洛北3期）「有職織物装束」

❖ ロングライフな記事コーナー

今の60号にある、クラス会・学年会だより・支部だより、部活OB会だよりの始まりは、早くも60年前の第1号に見られます。学年会だよりは各地だよりの欄の「七丘会」が最初で、この号では1件のみ。欄には「各クラス幹事の方へ御依頼」としてクラスの開催通知や報告を同窓会へ送ってほしいという、記事募集のお知らせが載せられています。その後、2号、3号と号を重ねるにつれて、投稿数は次第に増えていきました。「集う・学ぶ・味わう」の京一中クラブは第1号から掲載。その時すでに199回目の例会でその年に204回を開催、別に京一中洛北クラブ（東京）として第7回から5回の集いが持たれています。今年7月の開催で通算534回となる超・長寿会。「あかね」記事欄のご利用を引き続きお願いいたします。

残念ながらここ数年はコロナ禍でどの集まりもままならない状況ですが、感染予防対策の徹底やオンラインによるリモート開催など、工夫によっては新たな楽しみや出会いの妙味が生まれてくるかもしれません。〃会を開いたら「あかね」で報告〃を合言葉に、卒業生の和やかで温かな輪が広がっていきますよう、編集部も微力を尽くしてまいります。

◇70、80号…へと「あかね」がますます愛され親しまれ、役立つ同窓会誌へと進化していきますよう、今後も寄稿や取材、情報提供のご協力をお願いいたします。

学年会・クラス会だより

第59回楽歳会ゴルフコンペ 洛北14期

奇跡の一打でゴルフの楽しさも倍増!!

令和4年4月29日、滋賀の信楽シガセンチュリーCGにて、5組17人でコンペをスタートした。

プレー中頃から冷たい小雨が降りだし、雨の中なんとか9ホールが終わってレストランで昼食となった。天気は肌寒い曇りだった。その間にも雨風はますますひどくなり、「もう止めよう」と全員一致でハーフコンペとなった。昼食時間を延ばして成績発表も行った。酒・ビールが飲めないのが残念でならなかったが、予定より早く帰宅したので、家でゆっくり体を休めて少し一杯。

ところで、私はゴルフボールを右へ左へと追い求めているレベルだが、ゴルフには奇跡が結構ある。たとえば、セカンドショットがピンそばになる「スーパージョット」、やっとグリーンに乗ったがカップまで遠いロンググリップがまるで吸い込まれるようにカップインする「スーパージョット」、グリーンそばの深いラフから直接カップインする「スーパージョット」、ほかに「深いバンカーから一発グリーンオンができた時」「青空に吸い込まれていくようなドライバーショットが打てた時」など、これがあるからゴルフは止められない。

スコアを見てため息ばかりでも、奇跡のショットを話の種に友人達と交わすゲーム談が面白い。これが、下手でも楽しいゴルフなのである。

(三島康之)



支部だより

北海道支部

3年ぶりに第57回北海道支部の集いを開催!



後列:木村、町野、木下、小泉、和田、龍島
前列:佐藤、丸谷、安田、河村章人、河村皆子、安藤

今年始めから始まった何回目かのコロナの大流行が収まりつつあり、社会規制が緩和されてきた状況を見て、6月18日(土)に札幌ガーデンパレスで支部の集いを開催しました。久しぶりの会は、安田泰次元支部長(京一中昭23卒)から、初参加の和田瑛怜奈さん(洛北70期)まで12人が集まり、70年を跨ぐ同窓会となりました。

昨年9月に闘病中だった前支部長の安藤久男さん(洛北1期)が亡くなられ、また18年には村田生子さん(洛北3期)が亡くなられました。開会に先立ってお二人に黙祷を捧げました。

丸谷支部長の挨拶に続いて本部から寄せられたメッセージを読み上げ、京一中150周年・洛北高校70周年記念式典の報告、母校の様子などを紹介させていただいた後、安田さんに乾杯の発声をお願いし、食事をとりながら歓談、皆さんに自己紹介や近況報告をしていただきました。

当日は生前の安藤久男さんに付き添って集いに参加されていた祥子夫人にもご出席いただき、これからも支部の間としてお誘いするようになりました。

前回、父・今西錦司氏についてお話しいただいた河村皆子さん(洛北6期)からは「*今西錦司生誕120周年記念 △展」のお知らせがありました。また和田さん



洛七会の皆さまへ

卒業60年と無事80歳を越えたことを祝う同窓会を、東京オリンピックに合わせて開催する計画を進めていましたが、全国的なコロナ感染の高まりから残念ながら開催を延期してきました。その後、感染状況の推移を見守ってきたなか、本年5月の幹事会時において

本年11月14日(月)に開催

を決定いたしました。会場は『古き都の北にして』、豊かな自然環境に囲まれながら「人は自然の中に集い話し合う」というコンセプトの「国立京都国際会館」を選びました。

コロナ禍における催事では、感染防止対策の観点から歓談が一部制限されますが、一堂に会して顔を合わせることで通じ合う仲間です。ぜひとも参加されることを期待しています。

洛七会代表幹事 大原一弘
k.ohara@comet.ocn.ne.jp



お出かけにも、集まりにも
便利な祇園四条。
心がなごむ
ロシア、ウクライナ料理を
お楽しみください。

同窓会・クラス会など、お気軽にご利用ください。
鴨川を見渡せる55席のメインダイニングに加え、
14名様・30名様のご室もご用意しています。
夏期は屋上ビアガーデンもお楽しみください。

レストラン **キエフ**



〒605-0077
京都市東山区縄手通四条上ル鴨東ビル6F
TEL (075) 525-0860 FAX (075) 525-0810
ホームページ <https://restaurant-kyiv.com/>

会長 加藤 幹雄 (洛五)
代表 加藤 智恵子 (洛五)

東北支部

長引くコロナ禍、オンライン開催を探つて

前年に続き、この1年間もコロナ禍のために支部活動はありませんでした。

6月下旬の現在、街中の様子はそろそろコロナ以前に戻りつつありますが、年齢層の高いOBOGの皆さんに集まっていたくのはまだまだ気が引けます。

一方、オンライン支部大会については、オンラインの経験をお持ちでない方にどれだけご参加いただけるのかわかりませんが、他支部の状況を参考に開催を探っていきたく考えています。
(洛北24期 澤田恵介)



健康都市宣言10周年の昭和46年、市民投票により仙台市の花に決定した萩

には中高一貫コースのことなど母校の近況についてお話しいただきました。和田さんのお父さんが町野倫太郎さん(洛北30期)と大学同期だったことがわかるなど、思いがけないつながりもうれしい話題でした。

最後に、安田さんと龍島さんのリードで京一中校歌、洛北高校校歌を歌い散会しました。

また、休止期間中の会員の近況報告12編をまとめて「北のあしあと」第3号として発行しました。
(小泉章夫)

*令和4年4月20日~5年3月31日

於:滋賀県東近江市西堀栄三郎記念探検の殿堂



関東支部

2021年も活動中止、本年の再開に期待

2020年9月、コロナ禍による活動中止の案内状を会員へ送付してから2年がたちます。2021年9月には関東支部幹事会をリモートで開催し、活動中止の継続を確認。活動費の寄付募集、案内状送付、ホームページ更新も中止しました。その中、京都本部で開催された京一中150周年・洛北高校70周年記念式典に、支部を代表して川谷事務局長（洛北20期）が参加しました。

【田中均支部長 近況】TwitterのURL (@TanakaDiplomat) ロシア・ウクライナ情勢の収束が見えず、元外交官の田中支部長（洛北14期）は、YouTubeをはじめ様々なメディアで外交の重要性を発信されています。戦争という忌まわしい手段が二度と選択されない世界が築かれることを切に願っています。

【上田藍選手 近況】トライアスロン選手、関東支部のアイドル的な存在の上田藍さん（洛北51期）。東京オリンピック出場はかきませんでしたが、今年もとびっきり素敵な笑顔で活躍されています。6月ルーマニアで行われた世界選手権では、みごと3位で表彰台に。プログも配信されていますので一緒に応援しましょう！



2021年10月の日本選手権で優勝を果たした上田藍さん

徐々に各所でイベントが再開されていますが、会員に高齢者が多いことから関東支部2022年については、集まっていたイベントを開催すべきか思案している状況です。開催できる状況になりましたら急ぎ案内状を送付しますが、その場合は準備期間が短いためメールやSNSが有効な連絡手段となります。

関東支部（旧京浜支部）から、過去一度もメールが届いていない方、関東在住でなくても関東支部発信の情報に興味がある方は、支部のホームページ（<https://rakuhoku-highschools.com/>）からアドレスを登録いただくか、同窓会関東支部メール（rakuhoku.hsk@gmail.com）へお知らせください。

部活OB会だより

●硬式野球部OB会

500歳野球、今年も開催される！



今年の500歳野球も、佐竹三夫君（洛北22期）が副理事長として開会式の始球式を務められ、3月5日から各球場で始まりました。（翌週の京都新聞夕刊にその雄姿が掲載されました）

天候の関係で母校の1回戦は4月9日に。令和元年の大会で準優勝の成績を収め「あかね」57号に掲載させていただいたこともあり、今年も1回戦からリポートに行ってきました。

吉祥院にあるグラウンドは、いまが真っ盛りの桜並木で好天の下、往年の球児たちが元気にグラウンド内を駆け回っておられました。ネット裏で応援しておられた洛北2期の大角孝司氏、5期の山内千昭氏、10期の本間恒雄氏に話をお聞きしたところ、今年で35回を数える本大会の2回、4回、6回、8回では洛北が優勝したこと、また大角先輩は社会人野球の強豪として知られる「日本新薬」の選手であったことなど、本間先輩から資料類を見せていただきながら熱のこもった説明をうけました。

1回戦は田辺高校OBクラブと対戦して17対2で快勝。4月23日の2回戦も期待をもって応援に行ったのですが、4回までは接戦、しかし5回以降、相手の鴨沂シニアクラブの投手が良く、外野へのヒット性の当たりは1本のみで残念ながら0対5の「惜敗」となりました。

なお、リポーターの同期としては松葉公博君や愛甲博明君が出席し、本部長の佐竹君を含め、みんなが頑張っている姿は励みになります。次回も頑張ってお返しに、決勝戦までリポートできればと思います。

リポーター 平塚泉（洛北22期）
※12月24日には、甲子園球場で旧制中学四校対抗OB戦が開催される予定です。

東海支部

集まるのが難しい中で...

昨年、東海支部ではWeb Meetingを試みました。参加は10人弱と人数ではありましたが、久しぶりに顔を見ながら、種々のお話をうかがうことができ、心むむひと時であったと思います。

今年も12月に「京一中150周年・洛北高校70周年記念祝宴」と「第69回総会」が行われますが、この原稿を書いている7月下旬になって感染者が急増。ようやく元に戻ろうかという出鼻を挫かれるような状況で、年末までに何とか自由に、不安なく会食が楽しめる状況になってほしいと願うばかりです。

「あかね59号」では中田有紀さん（洛北44期）、家久浩一さん（京一中昭和23年卒）の一文や、大藪千穂さん（洛北29期）の著書が紹介されたりと、東海地方在住卒業生の活躍や、元気なところを感じていただけただけなのではないかと思えます。東海支部には実業の、あるいは趣味の世界で一家言を持つ方々がおられます。集いでの話題に留まらず、誌面でも大いに活躍していただきたいところです。

東海地方在住卒業生の皆さん！昔話をしたくなった、京都弁で喋りたくなった、どんな奴がこの地方にいるのか知りたくなった：理由は何でも！ 出ないことに慣れてしまつて何事も億劫になっていませんか？ ご案内を差し上げた折にはぜひ会合にご参加ください。

（洛北18期 香西朗）



●北山の会（京都一中・鴨沂高校・洛北高校山岳部OB会）

「北山荘80周年」を祝して 記念展示会開催！

京都一中山岳部員らによって建てられた山小屋「北山荘」。当会が維持管理に努め、山を愛する多くの人々の憩いの場となっています。今年めでたく80周年を迎えました。

そこでこれまでの歴史を振り返り、OB自身と協力者の維持管理を力強く持続して今後の発展を期すべく、来る11月1日より6日まで、京都市左京区吉田にある、カルチャーガーデン「吉田の森」にて「北山荘80周年記念展示会」を開催することになりました。

維持管理の編年史・記録写真・資料運搬道具・OB関連著作物などの展示で盛り上げたいと思います。

京都市の、京都を彩る建物や庭園の制度の選定を受けたことは昨年報告しましたが、山小屋所有者自身が建設し長年にわたり維持管理する例は極めて珍しく、山小屋の文化史的意義の面からも学術的に注目されています。同窓会の皆様のご来場をお待ちしております。

展示会開催を契機として、山岳部OBだけでなく協力者の結果も強化したいと思っております。展示会の最新情報のお問い合わせは左記へお願いします。

北山の会 eメール: kitayamanokai2019@eto.eonet.ne.jp

（北山の会会長 洛北13期 黒田俊郎）



▲2021年、修理時の写真

▲1965年撮影の北山荘

●京一中・洛北高あかねゴルフ会

伝統をかみしめ、同窓会らしいゴルフ会へ

京都ゴルフ倶楽部の舟山コースを会場に、令和3年度は予定どおり7回の例会と、12月の納会は会場を四条のミュンヘンに変更して開催しました。会名の冠にもなっている「京一中」の先輩方は不在となりましたが、若



手の入会もあり、さらに継続できる期待を込めて運営してまいります。

コンペの出席率も約80%と良好で、年間皆勤賞は11名、準皆勤賞は9名を数えます。

現在30名のメンバーですが引き続き入会希望者を募集中で、第13回～第18回卒業の方々をお待ちしています。入会をご希望の方は、同窓会事務局までお尋ねください。

なお、本年度より本間恒雄氏に世話役をお願いし、永年誠実に務めていただいた武田健一氏にはプレーに専念していただきつつ、後方から応援してもらいます。

会長 波多野元三郎(洛北3期)
世話役 小林大二(洛北7期)
本間恒雄(洛北10期)

●新聞局 局友会

創刊70年を越えて「洛北高校新聞」を顧みる

母校洛北高校は一昨年の2020年に「京一中150周年・洛北70周年」の節目を迎えたが、記念式典はコロナ禍のため昨年に開催。また同窓生が相集う祝宴は本年末に、と分散開催となった。

思えば「洛北高校新聞」が発刊されたのも母校創立と同じ昭和25年。長らく休刊が続いているが、創刊以来70年を越えたと新聞局の局友も感慨の今日この頃である。そこで、今も貴重な資料として同窓会資料室に保管されている「洛北高校新聞」その四半世紀のあゆみとして昭和51年に発行された「縮刷版」から、往時の新聞記事を披露させていただきたい。

創刊号で校章を、23号24号で校歌を発表

洛北高校新聞の第1号(昭和25年6月)には早くも校章が決まったとの記事が掲載され、「異彩を放つ立体的図案」と、その特徴を見出しで伝えている。校歌は第23号(昭和28年10月)に「校歌ようやく誕生」の見出しとともに吉川幸次郎作詞の歌詞が解説・注釈付きで紹介され、第24号(昭和28年12月)に「校歌制定遂に成る」「明朗で若々しい旋律」と4段副見出しで芥川也寸志作曲の楽譜を掲載している。

ノーベル賞授賞後、湯川博士単独インタビューも
第3号では全国紙に伍して、ノーベル賞受賞の湯川秀樹博士単独インタビュー記事を「田久保・村田特派員記」として2面トップに5段見出しで掲載。

洛北高校新聞バックナンバー提供を!

このほかにも母校関連の折々の情勢・出来事取材、報じてきた「洛北高校新聞」縮刷版は創刊号から127号(平成51年9月)までだが、それ以降も洛北高校新聞はしばらく発行されており、バックナンバーをお持ちの方には縮刷版所載分を含め、ご提供のほどをお願いしたい。

お問合せは同窓会事務局まで。(洛北6期 堀江 博)



●洛北スキーOB・OG会

元スキー部員による合宿から、広くスキーを楽しむ合宿へ

2021年は新型コロナのために中止された洛北スキー部OB・OG合宿でしたが、2022年は会員の皆様のご協力により、3月14日～16日に恒例の長野県岩岳スキー場にて実施することができました。

今年で33回目を数える今回の合宿の参加者は14人。関西と関東から半数ずつが参加され、そのうち女性は5人でした。なかにはスキーをやめたけれども合宿の気分を楽しみに…という人も。また同窓生の友人やそのまた友人といった洛北高校出身者以外の人も今やご常連となって参加されています。

洛北スキー部は第16期(1967年3月卒業生)を最後に廃部となりましたので、第11期以降の20～30人余りの元部員の方がまだエントリーされています。今回の合宿参加者のうち元スキー部員は洛北10期までで、高齢化の一途をたどっています。

元洛北スキー部員の方、また部員以外の方や、スキー愛好者の方はぜひ奮ってご参加ください。ご連絡は左記までお願いします。

090-1233014882 K39come.nabari@gmail.com
(洛北10期 櫻井 建)

洛北バスケットボール部 OBOGの皆様

お知らせ

いまだ続くコロナ禍をいかがお過ごしでしょうか?

前回のOBOG会からはや6年が経過して、今年こそは、と開催に期待を寄せておりましたが、いかんせんコロナの罹患はいまだ毎日万人単位です。

もう1年辛抱し
晴れて来年の開催を検討しております

状況が変わるようなことがあるようでしたら、改めて開催連絡の案内をさせていただきますので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

OBOG会実施幹事一同

連絡は 洛北27期 河野 量
ryokono1959@yahoo.co.jp まで

業務用酒類販売

なおかつ



ご縁にカンパイ!!

株式会社 株式会社 株式会社
なおかつ TEL:075-8101 京都府左京区高野原町65
TEL:075-781-3495 FAX:075-701-9020
http://naokatsu.com/



焼肉・キムチ工房
南山 比叡平店
(洛22 孫 卓文)

〒520-0016
滋賀県大津市比叡平 3-36-1
☎077-529-0573
✉shigananzan0573@gmail.com



紹介者

寺田 昭和
(京一中昭和19年卒)



しもつま
下間 頼一 著
(京一中昭和19年卒)

『水彩スケッチ紀行』

下間君とは京一中の4年生まで机を並べる機会はなく、5年生で同じ教室で学んだが、当時は第二次世界大戦の真っ最中で、最後の学生生活を満喫した記憶はない。しかし4年生で上級学校へ進学した者と軍関係の学校転向者を除いた、210数人は、それぞれの希望を抱いて自由に勉学に励むことができる学風であった。

思い出をたどると、低学年全員による野兎狩りで、ウサギを追う勢子組を率いていた下間君グループが獲物を逃がしたと言いつ争ったことがある。結果的に教官が彼等の健脚を評価して事なきを得たことがあった。また週一回の放課後の1キロメートル駆け足や、1万メートルマラソン、水泳など全ての体力で、私は彼の後塵を拝していた。そのほか夏休み中の自由課外活動では、比叡山で座禅修行をするとか海では2キロメートルの観海流を自由に楽しむとか、部活動では他流試合を好まなかったものの、同好会的な活動には極めて積極的だったのだ。

卒業後、久しぶりの一九会では、彼が1分間スピーチで円周率πの値を3.141592...と、20数桁まで暗唱披露し、一同サプライズした。また月例会では、京都石屏小路の小旅館で、彼が地球半分を踏破して調査した「古代科学文明史」大記録を、プロジェクトで3時間にわたって解説してくれ、改めて彼の健脚ぶりに敬服したのだ。その一部が、この見事なスケッチブックにまとめられている。今さらながら心・技・体完備かつ不言実行型の下間氏の人格に、心から敬意を表する次第です。ぜひ一読をお薦めしたい。

発行所 同朋舎(2015年刊)
非売品(189頁)
*書籍についてのお問い合わせは事務局まで

紹介者

木下 晴生
(洛北17期)



伊藤 忠夫 著
(洛北17期)

『京都空襲 -8888フライト-』

2021年1月16日、伊藤忠夫さんの著書『京都空襲』が上梓され、軽く読んだ無知な私は打ちのめされる。馬町、西陣での惨禍が記載され、空襲警報と市役所に設置された三連式のサイレンの記述に恐怖が私を襲う。

戦時下の報道は、厳しく管理統制され、中舞鶴の原爆模擬爆弾の投下の事実に身震いがする。占領下の京都における接収、キリスト教会の設立に続く、京都の空襲の経過も資料を精査してある。

伊藤さんの奥様は、小学校の先生をなさっていたが、病を得られ、伊藤さんは奥様の死にびったり寄り添われた。長年、医師としてもご夫妻と親しくしてきた私にとっても、夫を残して逝く心境には、察するに余りあるものがあった。奥様は歌人として知られ、辞世の歌が最後に載せられている。

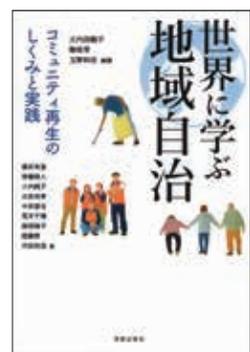
この春のなみだとひかり入りまじり
そのはてすべてさくら花びら 壽子

伊藤さんは子供の時から同級生の仲良しで、立命館大学法学部を経て京都市役所に入り、東山区長や人事委員会局長などを務めて退職された。さらなる京都史への挑戦を期待し、その労力と精神力に勇気をもたらした思いがある。

発行所 京都新聞出版センター(2021年1月刊)
本体 1,400円(233頁)

紹介者

清瀬 みさを
(洛北21期)



鯉坂 学(洛北15期)
大内 田鶴子・玉野 和志 編著

『世界に学ぶ地域自治
コミュニティ再生のしくみと実践』

本書の執筆・編集者である鯉坂学氏は同志社大学名誉教授であり、紹介者の清瀬は同大学の文学部教員ですが、たまたま地方出張で一緒した折、母校・洛北高校の同窓生であることを知り、以降は鯉坂先生のご専門である社会学について教えていただく関係になりました。

本書は鯉坂先生をはじめとする12人の研究者が、世界12カ国での実践的な地域自治に関する事例研究を行った成果で構成されています。それらは、アメリカの多様な近隣組織に始まり、イギリスの近隣自治体 Parish Council、スウェーデンのコミュニティ活動、ドイツの多様なコミュニティ制度、フランスの「近隣民主主義」に基づく住区評議会など欧米だけでなく、オーストラリアの防犯を起点とした地域住民組織、ブラジルの自治体予算編成への住民参加の試み、インドの地域を知り地域を計画するための学習活動、フィリピンの地域課題に協働で取り組むバラングイ、インドネシアの当事者の活動を政府が評価し支えるしくみづくりといった、多種多様な政治・社会形態のなかでの地域自治の事例です。中国の管理か自治か一居民委員会、韓国のマウル共同体づくりも紹介されています。

日本は、もともと自然災害列島である上、少子高齢化、単身世帯化が急速に進み、さらにコロナ禍が長引き、学校や会社でのオンライン化で人間関係の希薄化も深刻です。そのような時代にこそ、世界のさまざまな地域自治の実践についての本書は、日本社会のこれからを考えるきっかけとなる良書にほかなりません。

発行所 学芸出版社
本体 2,500円(254頁)

紹介者

岩井 宣佳
(洛北49期)



杉原 正志 著
(洛北49期)

『Visitez le Japon
au fil de son
histoire』

著者の杉原正志くんとは、洛北高校の同級生でした。われわれは二類英語科が発足した一期生でしたが、英語科という存在がそうさせたのか、たまたまなのか、女子30人ほど、男子は8人という非常にアンバランスな比率のクラスでした。杉原君は運動よりは音楽を愛する文科系、一方の私は運動部の部活のために高校へ通っているようなタイプのいわゆる体育会系。思春期真っただ中の学生の趣向が正反対ということで、一見反りが合わないようにも思えますが、クラス内の男子が非常に少ないということも手伝って、お互いの趣向・個性も超えて打ち解け、仲間になった記憶があります。

さて、ここでそんな彼の著書についてのご紹介でも、といきたいところなのですが、私フランス語わかりません。これは困った。しかし細かい内容はわかりませんが、著書をざっと拝見すると、緻密にしっかりと日本の紹介がなされているのだからということが伝わります。学生時代の彼を思い出すと、こつこつと誠実に物事に打ち込む性格だったので、その舞台がフランス語となっても変わることなく発揮されたのでしょう。日本史全体(旧石器時代〜令和まで)と各時代に関係のある日本各地の観光スポット、写真もふんだんに盛り込まれ、華やかに全カラー印刷351ページに仕上げられた大作は、誠実な彼だからこそ出版にまでこぎ着けられた立派な著書であると思います。

発行 Omake Books社(2021年9月刊)
本体 29,900円(351頁)

※田下先生のご冥福をお祈りして「あかね」ご寄稿を再掲いたします。

一中同期会会場にて

田下優
(京一中旧職)



田下 優先生(英語)
平成23年ご逝去
在任/昭和19年4月30日~
23年3月30日

今年の同期会は東西合同で、六月はじめ、蒲郡のホテル。東は東京から、西は岡山、津山もいる。一同席について数えると二十六名。二名の新顔は卒業後はじめてだな。ほとんど無欠席の〇君、K君の顔が見えないが……。「実は……こんなことで二人ともどうしても

時間がとれないのです。元気でやっていますから。」それから「あいつは海外出張中です。」長期療養中のK君は「順調に回復中。」よかったね。「卒業後三十年」だって？そうなるなあ。するとみんな四十才を越えたことになる。社会の最もきびしい波風をまともにうけている年頃だ。あらためてみんなの顔を見まわす。三十年前のあのやんちゃ坊主ども！

一中にお世話になったのは長かったように思うのに実は僅か三年間、つとめ出して数カ月、夏には担任の三年の諸君と市内の工場へ「動員」された。あの時代の大人達の暗い、いらいらした表情とは反対に、みんな生徒たちは澆刺として、そしてわんぱくで、全く油断ならなかった。防空壕掘りにゆくと人が立ってかくれる深さまで掘って中でトランプをする。他の工場へ連絡に外出させると廻り道をして映画をのぞいてくる。木工の工場では

玩具をつくる。持ち出しを門でチェックされると窓から疏水に投げて下流

で拾う。監督の将校の目や耳に入るより前に発見して、「処置済み」にするためには、しょっちゅう眼を光らせていなければならなかった。あれは無意識の抵抗であったのか、次の時代をたくましく生きてゆく活力は時々思わぬところに噴出した。

そして終戦。本館裏の中庭で聞いたラジオ。予科練や海兵予科等に行つたものも幸いみんな元気で帰って来た。みんなの将来の進路決定も迫っていたのに勉強専念はゆるさず、京都駅の臨時補充職員になったこともあった。諸君がそれぞれの道を模索しつつ卒業してゆくのを見送って僕も一中を退職した。勿論一中の罪ではないが、一中の長い歴史の中で、一中から最も逆待された生徒！それでも今、みんな一中の卒業生であることを誇りとし、心の支えとして、それぞれの仕事にがんばっていることがうれしい。人生浮き沈みは世の常、この会が、どうか陽の当たっている人達だけの懇親会にだけはならないように。

「先生ッ！」と呼ばれて我にかえると皆立上っている。「比叡の峰」が始まるのだ。

(昭和50年発行「あかね」第13号より)

※表記は原文のまま

言葉にも心にも満面の笑みを放たれた先生

三木裕子
(洛北19期)



石崎宏男先生(音楽)
令和3年8月30日ご逝去
(享年91)
在任/昭和36年4月1日~
49年3月31日

石崎先生には洛北高校で指導いただいた以来、55年の長きにわたりお付き合いをさせていただきました。どの生徒にも「上から目線」で指導されることは決してなく、垣根なしに接していただき、それでいて持ち前の

統率力で、当時洛北の看板スポーツだったラグビーにも劣らない熱の入れ方で「ハレルヤコーラス」の合唱を、素晴らしく盛り上げてくださいました。今も母校に現存するグランドピアノですが、購入直後の運搬時に壇上から落下させてしまった事件がありました。先生は「キズをつけよった！とずーっと嘆いておられ、この出来事は痛恨の極みだったようです。先輩から伺ったことですが、先生は音楽大学へ進学する生徒による音楽会を開かれ、全員を現役合格に導かれたことです。私たち19期生も人前で弾くチャンスを与えていただき、それは私の人生にとって人前で演奏する初めての経験となりました。当時、私が演奏を本職にすると誰が想像できたでしょう！ 音楽家としても経験豊富な先生は、ステージマナーについての助言も、失敗談をまじえて愉快にお話しくださいました。ピッカピカに磨かれた愛車のアクセルを踏んで、東へ西へ颯爽と駆け回っておられた姿が思い出されます。

私の活動の場がオーストリアに移った頃、洛北を退官され私立大学で教鞭を執っておられた先生から「ヨーロッパ音楽の根底にあるリズムを、学生に教えるための資料をそろえてくれないか」という難題を頂いたことがありました。その時にお送りしたCDなどを大層お気に召されたようで、ご家族のお話では最期の入院生活でも聴き続けておられたそうです。その

ご様子から、先生がどれほど音楽を愛しておられたのか、その想いを一層深くしております。

神様が下さった素晴らしい出会いに感謝しつつ、音楽の美しさと奥深さを熱心にご指導くださった石崎先生のご冥福をお祈り致します。 合掌

(ピアノリスト)

洛北高校

- ◇村山金造先生(商業)
令和元年10月15日ご逝去(享年94)
在任:昭和36年4月1日、
50年3月31日
- ◇倉本光雄先生(国語)
令和2年4月ご逝去
在任:平成元年4月1日、
7年3月31日
- ◇中川裕一先生(音楽)
令和3年ご逝去
在任:平成元年4月1日、
10年3月31日
- ◇大西 勉事務長
令和2年11月13日ご逝去
在任:平成11年4月1日、
15年3月31日

京に生まれ育って192年

朝に礼拝
夕に感謝

お仏壇・仏具はやっぱり

若林

取締役相談役 若林 卯兵衛(洛北十回卒)

本社 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131(代)

築地店・札幌店・仙台営業所

日本カラーグループ
Nihon Color Group

各種撮影・学校アルバム制作
日本カラーフォトスタジオ株式会社

☎(075)811-7272
〒615-0093
京都市右京区山ノ内宮前町5-7
FAX:075-811-8008

出張撮影
Kyoto 有限会社 京栄写真

人生の大切な瞬間を
写真に残す

☎(075)801-2340
〒615-0093
京都市右京区山ノ内宮前町6
FAX:075-801-2341

同窓生が発信！

東西南北

「夢のつぎぎ…」



京都市山科区発

懐かしく誇らしい洛北の校歌斉唱

赤坂 裕三（洛北6期）

秋晴れである。令和4年10月16日午後1時から、1年延期の「京一150周年・洛北70周年」記念式典が、京都ホテルオークラにて開催された。洛北6期は平岡猛男君、堀江博君、木下寧夫君、そして私の4人で、無事に式典が開催されたことを喜びつつ、マスク越しではあったが校歌「千年の森かげに」を皆で歌った。コロナ禍で諦めていただけに、式典に集えることに気分は浮き立ち、緊急事態宣言の解除という幸運に感謝した。

昭和29年3月に京都山科の中学校を卒業した私は、縁あって名門、府立洛北高校に入学した。忘れられないのは、合格発表に両親と出かけた時のことだ。会場の体育館に入り合格者名を順次見るも、いつまでたっても自分の名前がない。両親から「大丈夫か」と何度も聞かれ、冷や汗をかきながらぐると体育館内を一周した頃、入り口の反対側「1年1組1番」の所に、やっと自分の名前を見つけてホッと胸をなで下ろしたのだった。1年のクラスには、勉強はもちろん体育や芸術など全てに飛びぬけて優

京都市東山区発

ウクライナ危機について思うこと

加藤 幹雄（洛北5期）

毎号「あかね」誌上の広告でお世話になっているレストランキエフです。ここ3年ほどコロナ禍で苦勞してきましたが、ロシアがウクライナに侵攻した2月下旬以来、また別の心痛の日々を送っています。何故なら私の店の名前が「キエフ」だからです。店は1972年に亡父加藤幸四郎が創業しました。

「キエフ」と名付けたのは、その前年に京都市とウクライナ(当時ウクライナ・ソビエト社会主義共和国)のキエフ市が姉妹都市提携をしたことに因んだのです。キエフは10世紀に「キエフ公国」のウラジミール大公が、ビザンチン帝国からキリスト教を受容して発展しました。その勢力は北方にも及びましたが、13世紀になるとモンゴルの侵攻等で衰退して中心はモスクワに移ったのです。その意味ではキエフは京都、モスクワは東京と言えるかもしれません。

今回の戦争がプーチンの顔が立つような形で終結したら、またプーチンのような暴挙を企てるリーダーが出てくることでしょう。ロシアでは侵攻直前の1月下旬に、全ロシア将校会議長のイヴァシヨフ大将が、プーチン罷免を要求した嘆願書を発表していました。私は、早い時期に軍の中核に近い所から、このような文書が出されたことに注目しています。



ウクライナの歌姫ナターシャ・プジーさんをお招きして(2022年7月1日)

秀なトップグループの生徒が多く、故郷山科とのカルチャーショックと劣等感に落ち込んだ。しかしそれも何とか乗り越え、友人も増えて、下鴨神社や湯川博士宅など学校の周辺を駆け回っているうちに1年が過ぎた。2年の担任は国語の田中重久先生で、長恨歌の丸暗記や難解な漢字の講義などその独特な授業に哑然としたが、いま思うと極めてハイレベルな授業で、もっとしっかりと学んでおけばよかったと後悔している。

3年間で生涯の親友ともいえるべき友達を得ることはできたが、もっと思い出に残る、多感な、楽しい高校生活を送れなかったかと残念でならない。

卒業後は洛北の同窓会とは疎遠な時期が続いたが、平成4年、35年ぶりに「みのり会」に出席した。多くのクラスメートが歓迎してくれた。それぞれ元気に人生を駆け抜けている姿に、参加して良かったと実感した。大学の同窓会とは異なり、異業種の同期生から自分の知らない世界での興味深い話を聞くことができた。こうした集まりで校歌を声高らかに斉唱する時こそ、洛北高校を卒業したことを誇らしく思える瞬間である。以来「みのり会」へは毎年の参加を目標とし、同窓会総会にも可能な限り出席してきた。コロナ禍が落ち着けば3年越しの総会での祝宴があると聞き、待ち遠しい。「みのり会」も新たに何らかの催しが予定されていると聞いている。

80歳を越え、今後は「自立」を重視し、日常生活で無理のないレベルの負荷をかけて常にチャレンジすることが大切と考えている。この拙文も、一度は『あかね』に投稿したいというチャレンジ精神の表れと想っていた。長く地元府立高校の評議員を務めた。今も府立高校の中での母校の活躍ぶりを側聞するたびに、誇りに思う気持ちが一層強まっている。

(旧姓 浅野)

の避難民が来訪され、故郷の味を楽しまれています。成年男子は出国出来ないで、女性と子供ばかりで、先行きどうなるかを大変心配されています。ウクライナの人たちへの支援は必要でしょう。ただしアメリカをはじめとするNATO諸国は、武器の増援に応えるだけではなく、両者の間に入って戦争終結を加速する動きをしてほしいものです。日本はこの機に構造問題に取り組んで、経済再生をはかる努力が必要なのではないでしょうか。再生エネルギーの比率を大幅に高めること、思い切った農業振興をはかることもその一つだと感じます。

(レストランキエフ会長)

京都府福知山市発

すべての人と政治との距離を縮めたい

山本 和嘉子（洛北36期）

誰もが安心して暮らせ、人にやさしく多様性を大事にする社会をつくりたい、そして生まれ育った京都が住みやすく、教育、経済、観光などをさらに発展させたい。そんな思いで2017年から4年間、衆議院議員として活動させていただいた。昨年の衆議院議員選挙で落選したが、引き続き京都の北部で活動させていただいている。

昨年までは女性議員、現在は女性として国会議員を再度目指す立場から、地域の女子高生から高齢の女性まで、多くの女性との接点がある。言えることは、何らかの仕事を持っている女性が多いということだ。正社員、パートなど以外に地域柄、農業に携わるといって女性、会社や飲食店をご主人と一緒に経営する奥さんなど多種多様。さらに言えることは、新しいことにチャレンジする女性が多いということだ。例えば、将来的に外国人の技能実習生を迎えたいので日本語教師を目指している女性経営者や、クラウドファ



自宅近くの山科疏水



試合中（関東女子セブンズ）の長手さん（左）

ラグビー一家に生まれ育った私は、気付いたときには、家に転がっていたラグビーボールで遊んでいました。幼い頃から走ることが大好きで、小学5年から陸上競技を始め、中学・高校では短距離走に打ち込み、4×100mリレーで近畿インターハイに2度出場。

ところが高校2年の頃からラグビーへの思いが強くなり「アスリート発掘オーディション」に挑戦、七人制ラグビーの選手として合格しました。日本代表の選手やコーチの方々との合宿で練習するうちにますます七人制ラグビーの楽しさに引かれ「日本代表になる」という小学生からの夢を、ラグビーでかなえたいと思うようになりました。

高校を卒業し、関東で一人暮らしをしながら順調に大学・競技生活を送っていたのですが、昨年、膝のけがで手術をし、10カ月ほどプレーができませんでした。夢と目標を見失い、一時は選手を辞めようかとも考えましたが、ラグビーの楽しさが心から離れることはありませんでした。家族や周りの人にも支えられて「もう一度」とリハビリを頑張り、何とか無事に復帰することができました。復帰してすぐに国内最高峰の試合に招待していただくなど、幸運にも多くの試合に出場することができました。「楽しめているか」。これは、私が所属して



地元で働く女性の声を聞く

ンディングで資金調達に成功して保育園を設立した女性など、将来を見据えた前向きな活動をしている方々がおられる。一方で、コロナ禍で収入が減ったという悩みや、差別などで生きづらさを感じている女性もたくさんいるということ、また、政治は遠いもので自分たちとは関係のないところで動いていると思っている女性が多いということも感じている。私はそんな中、これからは「これをやりたい」「こうなってほしい」ということを実現できる世の中にしていきたいと強く思う。

洛北高校3年の時の担任は、女子体育の村田史先生だった。とても優しくバイタリティあふれる先生で、私は常に元気をもらっていた。頑張っている女性と出会うと、村田先生を思い出すことがある。先生にはまだまだ遠く及ばないが、政治を目指す一人の人間として、働く女性として、常にチャレンジし続け、困難に立ち向かう強い人間であり続けたい。そして、全ての人と政治との距離を縮め、誰もが安心できる社会をつくりたい。これが私の「夢のつづき」である。

（立憲民主党京都府第5区総支部長 前衆議院議員）

三重県名張市発

アフターコロナに備えてウォーキング

萩原 和久（洛北11期）

洛北高校在学中、私はスキー部に籍をおりましたが、卒業後はスポー

ングして足腰を鍛えています。

神奈川県藤沢市発

夢に向かって「楽しめているか」をモットーに

長手 美波（洛北69期）

いる湘南ベルマーレのチーム・スローガンです。けがをしたことでこの言葉をより深く考えるようになりました。楽しいから辛いことも乗り越えられ、もっと上を目指そうと思うことができます。大げがをしても復帰できたのは、ラグビーの楽しさを忘れずにいられたからだと思っています。

この春から大学3年生になり、保健体育や小学校の教師を目指して学業に励みつつ、ラグビーも楽しんでいきます。私はこれから、順調なときはもちろん、もし辛いことがあっても、自分自身にいつでも「楽しめているか」を問いかけながら夢に向かって走り続けたいと思います。

（東京女子体育大学体育学部3年生／湘南ベルマーレ）

徳島県徳島市発

ゆったりリズムの徳島との出会い

大嶋 正男（洛北21期）

洛北高校を卒業して丸50年になります。この50年の間に、娘を2人、17歳を筆頭に5人の孫にも恵まれました。西宮から人生第2の職場がある徳島市へ移り、家内と2人ゆっくりしたりリズムの中で生活しています。

高校時代はバスケットボールに明け暮れ、体育館以外の練習で下鴨神社から上賀茂神社、宝ヶ池などを走り回っていました。今から思うと、ずいぶん恵まれた環境で高校生活を送っていたのだとしみじみ思います。

もともと徳島には縁もゆかりもなく、40代半ばに会社の転勤で来ました。ごだんまりとして整備された地方都市、川が多く、海と山に囲まれた南国情緒の街、そして何より人情味あふれる地域の人たち。家内もこの土地柄を気に入り、結局5年間暮らしました。もう二度と住むことはないと思っていたところ、徳島に住む同僚の働きかけもあり、5年前から2度目の徳島生活を送ることになり現在に至っています。



駅前立つとすぐ目の前に眉山が見えます。

眉山は標高290m前後のなだらかな山で、遠く万葉集にも歌われ眉の形をしていることから「眉山(びざん)」と名付けられたといわれています。駅前から徒歩10分程度で登山口があり、足を一歩踏み入れるとそこは自然豊かな原生林。とても街の近くとは思えない静寂なたたずまいです。毎週末、早朝に仲間数人とリフレッシュと体力維持のため頂上まで登り、山麓の徳島眉山天神社にお参りした後、今日も元気で登れたことに感謝してビールで祝杯を上げる時が、いま最高の瞬間です。眉山の頂上からの展望は素晴らしく、晴れて空気が澄んだ日には、名峰剣山や遠く和歌山方面まで望むことができます。



70歳まであと2年間は徳島でのんびり暮らし、その後のことはこの2年のうちに四国八十八箇所の霊場を巡って弘法大師に教えを乞い、答えを見つけて出したいと思っています。

(損害保険料率算出機構勤務)

オーストラリア発

大らかなオージーそして『京都』

小田中 レナ(洛北44期)

大学卒業と同時にオーストラリアへ渡って、早いもので23年がたちました。日本で十分に英語を勉強したと思っていたにもかかわらず、現地では自分の英語がほとんど通じないことに少し落ち込んでしまいました。でもオーストラリアの人たちは思っていた以上に自由でした。広大な土地のせ

集う・学ぶ・味わう

京一中洛北クラブ

(奇数月第3土曜日 聖護院御殿荘 ※変更あり)

ウィズ・コロナの年に意義ある三度の集い

現役・リタイア世代を問わず専門分野のお話を、卒業生やゆかりの方にお願いし、その後、参加者同士で食事をしながら歓談する2カ月に一度の集まり。令和2年1月の第531回からコロナ禍のために定期開催はできませんでしたが、昨秋から今夏まで3回の集いを開きました。テーマは建築・ウォーキング法・報道裏話と趣向さまざま。通常会場の聖護院御殿荘が改装中のため、四条烏丸のからすま京都ホテルに会場を移して、各回20人、30人が参加しました。それぞれ感染対策に留意しながら、当クラブならではの有意義な集いを楽しむことができました。

第532回 令和3年11月13日

「持続可能な健康住宅・歳とともに寄り添う家」
講師 今井秀明氏(洛20)

第533回 令和4年5月21日

「一生モノの健康法〜目からウロコ
の正しい姿勢と歩き方〜」
講師 坂口久美子さん(洛38)

第534回 令和4年7月23日

「取材の現場から」
講師 今西拓人氏(洛33)



田中耕一氏のノーベル賞や
ゴルパチョフ氏の取材裏話を語った
今西拓人氏(第534回)

いか視界の半分以上が空で開放感に満ち溢れ、ビーチ沿いを歩くとカラフルな洋服を着たお年寄りの夫婦が、楽しそうに手をつないで歩いているのに出会います。私の未熟な英語のコミュニケーションも、現地のみんなは寛大な心で迎え入れてくれました。

こちらの生活が長ければ長くなるほど、良いところもたくさん見えてきます。毎日の生活を楽しんで過ごして、ちょっとくらいは失敗も許されることなど、日本とは全然違って戸惑うこともありましたが。例えば新しい冷蔵庫を届けてもらった時、配達員の不注意でそのドアが凹んでしまいました。でも配達員は「大丈夫動くよ!」とケロッとしています。私は修理や交換をしてほしいと頼んだのですが、配達員は『そんなことくらいで?!』と逆に驚かれる始末。でも今ではそんな考え方に慣れ、電気屋さんや大工さんが時間通りに来なくても『そんなものか』と思えるくらいの『オージーっぽい』心の持ち主になりました。

日本のサービスの良さには、毎回感心させられます。日本は本当に便利な物で溢れており、何でもすぐに手に入り、とても住みやすいところだと思います。とりわけ京都は、便利以上に神社仏閣に囲まれていて、情緒あふれる日本を代表する素晴らしい街だと思います。日本に住んでいた頃は神社仏閣など全く興味がありませんでしたが、今では京都に帰るたびにいろいろな名所を子供たちと巡っています。

私はこの素敵な土地で生まれ育ったことを誇りに思い、日本をあまり知らない子供たちに、私の知っている限りの魅力をしっかり伝えていきたいと思っています。

(旧姓 河村)

関活洛有会

(4カ月に1回開催 第3金曜夕刻)

リモートも活用して、気軽に闊達に意見交換!

洛北10期生が中心となってスタートした「関活洛有会」は、今年で20年になります。興味深い話題提供に闊達な意見交換、そして食事を交えての活発な交流でしたが、コロナ禍にてしばし中断。第62回(令和3年6月)会合は、各位からの近況報告をメール配信する形としました。対面での開催が難しいことに加えて、開催場所として長年お世話になりました京町堀クラブが閉鎖されました。新会場のご提案などあれば幸いです。

対面が難しいなら、ということと、第65回(6月17日)の会合は、Webによるリモート開催といたしました。インキュベーション・マネージャーである17期生の林茂樹さんから「ベンチャー起業のお手伝いをして」と題して、(独)中小企業基盤整備機構の活動内容と、京大桂ベンチャープラザでの活動を紹介いただきました。歴史ある京都はベンチャー発祥の地でもあります。関活洛有会のメンバーとして元気をいただきました。

話題提供の後は参加者11人からの近況報告。飲み物の準備万端の方、仕事着(手術着)のままのかた: Web開催の都合がよい場面もありました。



(連絡先) 洛北17期 毛利勝一 (mohrim@hi-ho.ne.jp)

洛北20期 林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)



令和3年度卒業式 71期生267名が卒業、同窓会入り

令和4年3月1日(火) 第71回卒業証書授与式が体育館で挙行政され、267名が卒業しました。式では山本康一校長から式辞が述べられ、卒業生の門出を激励されました。ただ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に続きご来賓の方々に出席を控えていただいております。只友景士PTA会長の祝辞は書面にて配布する形となりました。

2月28日(月)には、同窓会入会式が執り行われました。同窓会からは高坂節三会長、加藤幹雄副会長、三輪新造常任理事及び山川富士夫常任理事が出席され、祝意を表されました。また、71期生の学年幹事へ委嘱状が渡され、同窓会と生徒会より卒業記念品の贈呈がありました。

71期生幹事(敬称略)

1組 関 子龍◎	中嶋智織	5組 下村実歩	森 圭崇
2組 澤坂郁花	服部 樹	6組 池野美里	白石誠真
3組 木村 悟	棚橋ほのか	7組 小林直央	田村真由
4組 西川 圭	松本ののん	(◎印は71期生学年幹事代表)	

大学医学部医学科の合格者数はのべ7名(4名)となっております。また、京都大学特色入試では6年連続で合格者が出ました。主な大学別合格者数は次の通りです。

《国立大学》

東京大学2名、京都大学11名(1名)、大阪大学6名(3名)、名古屋大学1名、神戸大学7名(1名)、北海道大学1名(1名)、九州大学1名、筑波大学(1名)、東京海洋大学1名、電気通信大学1名、東京農工大学(1名)、金沢大学1名、福井大学2名、信州大学3名、静岡大学(1名)、名古屋工業大学1名(1名)、三重大学2名、滋賀大学1名、滋賀医科大学5名(1名)、京都教育大学4名、京都工芸繊維大学9名(2名)、大阪教育大学1名、奈良教育大学2名、鳥取大学(1名)、島根大学2名、岡山大学2名(2名)、広島大学1名、山口大学1名(1名)、徳島大学1名、鳴門教育大学1名、長崎大学(1名)

《公立大学》

京都府立大学4名、京都府立医科大学4名(1名)、大阪公立大学5名(2名)、滋賀県立大学3名、新潟県立看護大学1名、名古屋市立大学2名、京都市立芸術大学1名、兵庫県立大学2名(1名)、奈良県立医科大学2名、奈良県立大学3名、和歌山県立医科大学1名、岡山県立大学1名、広島市立大学1名、高知工科大学1名

《私立大学》

同志社大学36名(6名)、立命館大学90名(20名)、関西大学37名(7名)、関西学院大学11名(5名)、慶応義塾大学2名、早稲田大学1名、上智大学2名、東京理科大学(1名)、青山学院大学3名、中央大学1名、法政大学(1名)、京都産業大学83名(7名)、近畿大学41名(8名)、龍谷大学70名(30名)、佛教大学24名(3名)、同志社女子大学11名、京都女子大学13名(4名)、京都薬科大学9名(3名)、大阪医科大学9名(1名)、関西医科大学(1名)、その他111名(34名)

令和3年度前期・後期部活動報告

〔体育系〕★は全国大会

●ラグビー部

第8回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会京都府予選 準優勝
令和3年度全国高等学校ラグビーフットボール大会京都府予選 第3位
第73回近畿高等学校ラグビーフットボール大会京都府予選 ブロック準優勝

令和4年度入学式

令和4年4月8日(金)午後、高等学校入学式及び附属中学校入学式が挙行政され、高校へは279名、附属中学校へは80名の生徒が入学しました。本来なら高合同の入学式を挙行政しているのですが、今年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開会時間をずらして別々に行いました。新入生に対する入学許可の後、本年度新たに赴任された川口浩文校長が式辞を述べられました。ただ、只友景士PTA会長の祝辞は書面にて配布するなど、昨年度に続き感染対策を意識した時間短縮での実施となりました。しかし、本校の伝統を受け継ぐ洛北生としての新たな一歩を歩み始める新入生に対する想いは、十分に伝わる式となりました。今後、部活動に大いに活躍することを期待します。

令和3年度 進路状況

※()は判明分の過年度生の数

昨年度の卒業生は、東京大学、京都大学、大阪大学をはじめ国公立大学へのべ101名(22名)、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学をはじめ私立4年制大学へのべ554名(131名)が合格しました。国公立

●サッカー部

第100回全国高校サッカー選手権大会京都大会兼京都高校サッカー選手権大会 ベスト8
高円宮杯JFA U-18 サッカーリーグ2021 京都1部リーグ 第3位

●女子バレーボール部

令和3年度全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府予選会 ベスト16

●男子ハンドボール部

第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会京都府予選 優勝、ベストセブン賞3名

★第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会

優勝、ベストセブン賞3名

●女子ハンドボール部

第73回日本選手権大会京都府予選 優勝

第73回日本選手権大会近畿予選

準優勝

令和3年度京都府高等学校ハンドボール新人大会

ベストセブン賞 3名

★第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会

優勝

●男子バスケットボール部

第41回全国高等学校バスケットボール選手権大会(ウィンターカップ) 京都府予選 ベスト8

●女子硬式テニス部

第69回京都府高等学校バスケットボール新人大会 ベスト8
京都サマージュニアテニス選手権大会
女子シングルス ベスト32 加来陽香
女子ダブルス ベスト64 横山紗良

近畿高等学校テニス選手権大会京都府予選

女子シングルス ベスト32 加来陽香、林蒼緒
女子ダブルス ベスト64 山田菜々

全国選抜テニス選手権大会京都府

女子ダブルス ベスト16 加来陽香・横山紗良ペア
女子団体の部 ベスト8 加来陽香・横山紗良・田井中楓香・林蒼緒・原田樹

山田菜々・白澤菜友子・下村素子・藪内亜衣莉



京都府高等学校テニス選手権大会

女子シングルス ベスト32 加来陽香、山田菜々

女子ダブルス ベスト32 加来陽香・横山紗良ペア

京都府公立高等学校テニス選手権大会

女子団体の部 第4位

女子個人の部 ランキング3位 加来陽香

7位 山田菜々

近畿公立高等学校テニス選手権大会

女子シングルス初出場 加来陽香、山田菜々

京都招待テニス選手権大会

(近畿6府県合同大会京都府代表)

女子シングルス初出場 加来陽香

京都ジュニアテニス選手権大会

女子シングルス ベスト64 加来陽香、山田菜々

女子ダブルス ベスト32 加来陽香・横山紗良ペア

●弓道部

★令和3年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会

第66回全国高等学校弓道大会

女子個人出場 岡本愛里

第40回全国高等学校弓道選抜大会京都府予選会兼

第29回近畿高等学校弓道選抜大会京都府予選会

女子個人7位 久森優心

女子団体準優勝 久森・鈴木・西藤・村上・大西

第40回記念全国高等学校弓道選抜大会近畿予選会

女子団体2位 久森・鈴木・西藤・市川

第29回近畿高等学校弓道選抜大会

女子団体出場 久森・鈴木・西藤・市川

●女子ソフトテニス部

令和3年度京都府高等学校ソフトテニス選抜大会

個人戦中ブロック予選 ベスト16 橋本一花・堀田梨紗ペア

令和3年度京都府高等学校ソフトテニス選抜大会

団体戦 南部予選Aゾーン 第5位

【文科系】★は全国大会

●サイエンス部

★第11回科学の甲子園全国大会出場

今井晟・藤森陽生・田中悠飛・辻本陽一・藤井誠・

山口惇・山本理・花田彩

★化学グランプリ2021

金賞・近畿支部長賞 徳田陽向

★第21回日本情報オリンピック(JOI2021/2022) 2次予選

優秀賞 辻本陽一

★物理チャレンジ2021 銀賞 徳田陽向

●吹奏楽部

第58回京都府吹奏楽コンクール

高等学校小編成の部 金賞

第54回京都府アンサンブルコンテスト

高等学校の部 木管8重奏 銀賞

●囲碁・将棋部

『みやこの文化賞輝き賞』京都府知事表彰受賞

吉藤真成(第45回全国高等学校総合文化祭囲碁部

門団体戦優勝のメンバーとして)

第41回近畿高等学校総合文化祭囲碁部門

男女団体戦 準優勝 藤井誠(京都府代表として)

第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会将棋部門

男子個人戦 B級準優勝 山本夏暉

第38回京都府高等学校総合文化祭将棋部門

男子個人戦 第3位 山本夏暉

●文化研究部

第38回京都府高等学校総合文化祭小倉百人一首

かるた部門Ⅱ部 第3位 布施彩夏

【部活動以外】

●令和3年度「税に関する高校生の作文」

京都東府税務所長賞 川本歩乃加

京都市左京区租税教育推進連絡協議会会長賞

司辻麗乃・鳴海風佑・河合蒼葉・小寺浩斗



京都府庁で表彰をうける吉藤真成君
右は菅谷京都府議会議長

●陸上競技部 (競技種目名のHはハードル、Rはリレー)

第54回京都府高等学校ユース陸上競技対校選手権

1年男子 1500m 第5位 服部由羅

5000m 第4位 今堀匡道

第5位 三宅勇希

3000m障害 第2位 永井孝明(近畿ユース出場権獲得)

1年女子円盤投げ 第6位 田伏理代

2年女子 1000m 第2位 原萌琉(近畿ユース出場権獲得)

200m 第7位 原萌琉

400m 第8位 森川紗帆

400mH 第8位 柴田沙也加

女子4×100mR 第4位 青山・原・柴田・森川

(近畿ユース出場権獲得)

第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

1年男子 3000m障害 第3位 永井孝明

2年女子 1000m 第5位 原萌琉

女子 4×100mR 出場 岡部・原・柴田・青山

第56回京都府高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会

男子 5000m 第3位 三宅勇希

女子 1000m 第3位 原萌琉

3000m 第7位 菅原実那

1000mH 第7位 森田真菜

4×400mR 第8位 柴田・原・青山・森田

オープン女子3000m 第5位 寺沢・日菜向

男子第72回・女子第38回京都府高等学校駅伝競走大会

男子 第5位 三宅・服部・永井・坂元・岡本・今堀・城塚

女子 第9位 寺沢・菅原・手島・田伏・国府

(近畿高校駅伝出場権獲得)

左京区長賞 日渡英里

京都府租税教育推進連絡協議会代表幹事賞 高木智也

近畿税理士会左京支部長賞 藤井 生

●第60回全国高等学校生徒英作文コンテスト 入選 西岡寿美

●第18回近畿高等学校英語スピーチコンテスト(兼第14回全国高等学校英

語スピーチコンテスト近畿ブロック予選大会) 出場 日渡英里

令和4年度前期

【体育系】★は全国大会

●ラグビー部

第9回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会京都府予選 第3位

第75回京都府高等学校総合体育大会ラグビーフットボールの部 第3位

●サッカー部

令和4年度全国高等学校総合体育大会(サッカー競技)

京都府予選 ベスト16

●女子バレーボール部

全国高等学校総合体育大会バレーボール競技の部 京都府予選会 ベスト8

第75回近畿6人制バレーボール高等学校男女選手権大会出場

全国高等学校体育学科・コーススポーツ大会近畿予選Bブロック 優勝

★全国高等学校体育学科・コーススポーツ大会出場

●男子ハンドボール部

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技京都府予選

優勝、ベストセブン賞3名

令和4年度優秀選手賞 4名受賞

第65回近畿高等学校ハンドボール選手権大会 優勝、セブン賞3名

●女子ハンドボール部

第75回京都府高等学校総合体育大会 優勝

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技京都府予選

優勝、ベストセブン賞3名

令和4年度優秀選手賞 5名受賞

第74回日本選手権大会京都府予選 優勝

第65回近畿高等学校ハンドボール選手権大会 優勝、ベストセブン賞3名

- 女子硬式テニス部
 - 全国高等学校総合体育大会テニス競技京都府予選
 - 女子シングルス ベスト32 加来陽香、ベスト64 山田菜々
 - 女子ダブルス ベスト32 加来陽香・横山紗良ペア
 - 女子団体の部 ベスト8 加来陽香・横山紗良・田井中楓香・林蒼緒・山田菜々

●弓道部

- 春季高等学校弓道大会
 - 女子個人 優勝 鈴木保香
 - 5位 久森優心
 - 女子団体 2位 大西・久森・下坂
 - 3位 鈴木・田中・和田
- 第76回京都府高等学校総合体育大会
 - 女子団体準優勝 下坂・大西・戸田・久森・鈴木・西藤・市川
- 全国高等学校総合体育大会弓道大会京都府予選会兼
- 第75回近畿高等学校弓道大会京都府予選会
 - 女子個人 5位 戸田・絢野
 - 女子団体 準優勝 戸田・市川・鈴木・久森・下坂・西藤
- 第75回近畿高等学校弓道大会
 - 女子個人出場 戸田・絢野
 - 女子団体出場 戸田・市川・鈴木・久森・下坂・西藤
- 令和4年度国民体育大会弓道競技近畿ブロック大会出場
 - 戸田・大西・下坂・瀬戸口

●女子ソフトテニス部

- 令和4年度京都府高等学校ソフトテニス選手権大会
 - 団体戦 南部予選Aゾーン 第4位
- 陸上競技部
 - 第75回京都府高等学校総合体育大会(市内ブロック)
 - 1年男子 3000m 第2位 山本琉生
 - 2年男子 1500m 第5位 野木琉平
 - 3年男子 4000m 第6位 永井孝明
 - 2年女子 1000m 第5位 今堀匡道
 - 3年男子 4000m 第6位 梶響太
 - 2年女子 1000m 第8位 青山蓬

【文化系】★は全国大会

- 放送部
 - 第61回京都府高等学校放送コンテスト兼 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト京都大会
 - 創作テレビドラマ部門 第1位
 - 朗読部門 第7位 大久保美咲
 - ★第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
 - 創作テレビドラマ部門 準決勝進出 部門入選
- 囲碁・将棋部
 - 第46回全国高校囲碁選手権京都府大会
 - 個人戦 3位 吉藤真成(全国大会出場権獲得)
 - 第58回全国高校将棋京都府選手権大会
 - 男子団体戦 4位(山本夏暉、杉岡陽平、東孝衛)
- 文化研究部
 - 第44回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
 - 団体戦 京都府予選会 第4位

【部活動以外】★は全国大会

- ゴルフ
 - ★全国高等学校ゴルフ選手権大会春季大会出場 北田智大
 - ★文部科学大臣杯争奪
 - 令和4年度全国高等学校ゴルフ選手権大会出場 北田智大

【附属中学校】

令和3年度後期

- 第5回京都府中学生弓道大会
 - 男子団体 2位 小田垣陽人・青木翔和・重松恒希
 - 女子団体 優勝 瀬戸口奈桜・坂元奈直・和田まい
 - 2位 下坂百葉・斎藤慶子・松浦華子
 - 3位 高嶋紗都・西村紫音・小畑百佳
 - 男子個人 2位 青木翔和
 - 3位 重松恒希



- 3年女子 3000m 第3位 菅原美那
- 1000m 第5位 原萌琉
- 4000m 第3位 森川紗帆
- 1000mH 第6位 森田真菜
- 4000mH 第3位 柴田沙也加
- 4×1000mR 第2位 森田・原・柴田・森川
- 走幅跳 第6位 岡部寧音
- 女子3年 総合 第4位

- 第75回京都府高等学校陸上競技対校選手権大会
 - 男子 4000m 第5位 梶響太(近畿インターハイ出場権獲得)
 - 5000m 第8位 坂元南柚太
 - 3000m障害 第5位 永井孝明(近畿インターハイ出場権獲得)
 - 1000m 第6位 原萌琉(近畿インターハイ出場権獲得)
 - 2000m 第8位 原萌琉
 - 1000mH 第7位 森田真菜
 - 4×1000mR 第4位 青山・原・柴田・森川
 - (近畿インターハイ出場権獲得)
 - 4×4000mR 第8位 柴田・森川・入倉・森田
- 第75回 近畿高校陸上競技対校選手権大会
 - 男子 4000m 出場 梶響太
 - 3000m障害 出場 永井孝明
 - 女子 1000m 準決勝進出 原萌琉
 - 4×1000mR 準決勝進出 森田・原・柴田・青山

●水泳部

- 第75回京都府高等学校総合体育大会水泳競技大会
 - 男子 団体総合 第8位入賞
 - 男子 500m自由形決勝 第3位 万代太郎
 - 男子 1000m平泳ぎ決勝 第6位 児玉忠也
 - 令和4年度京都選手権水泳競技大会競泳競技
 - 男子 500m自由形B決勝 第4位 万代太郎
 - 第90回京都府高等学校選手権水泳競技大会
 - 男子 500m自由形決勝 第3位 万代太郎
- (第76回近畿高等学校選手権水泳競技大会出場決定)

女子個人 優勝 和田まい

- 2位 坂元奈直
- 3位 瀬戸口奈桜
- 京都市中学校夏季総合体育大会 テニスの部
 - 男子団体3位 才田遼・岡橋龍司・辻拓真・加藤暢啓・松田拓真・久留宮悠大・宮奥創太・古仲智貴・浅賀唯生・前田駿輔
 - 女子団体3位 角濱菜々美・井上翔子・高木柚花・塩見理桜・橋本葵・高嶋幸・畑埜千聡・藤川真綾・若木恵麻・門野瑠利佳
- 京都府中学校総合体育大会 テニスの部
 - 個人ダブルス8位 浅賀唯生・加藤暢啓
- 京都市中学校選手権総合体育大会
 - 陸上競技の部
 - 男子共通 4000m 5位
 - 男子低学年 4×1000mR

バドミントンの部

- 女子個人ダブルス準優勝 近藤咲希・山下あまね
- 第58回京都府吹奏楽コンクール
 - 中学校(小編成の部) 金賞
- 第42回朝日少年少女囲碁名人戦京都府大会
 - 中学校の部優勝 中井芳樹(文部科学大臣杯少年少女囲碁大会出場)

※部活動以外

- 令和3年度中学生の「税についての作文」
 - 左京納税貯蓄組合連合会長賞 下坂百葉
- 第67回青少年読書感想文京都府コンクール
 - 京都府知事賞 佐野綺奏

令和4年度前期

- 京都市中学校選手権大会春季大会
 - テニス男子ダブルス第3位 後慶唯・高松悠
- 第68回全日本中学校通信陸上競技大会京都府大会
 - 男子1100mハードル優勝 吉野倫五

●文部科学大臣杯 第18回小・中学校将棋京都府大会
団体戦第3位 曾我聡祐・青山真河・桂幸生

●第19回全国中学生弓道大会京都府予選会
団体の部女子 優勝 斎藤慶子・西村紫音・松浦華子
第2位 福永紗季・短田理紗・緒方悠希
第3位 高井双葉・佐藤美咲・今井眞香

●スーパーサイエンスハイスクール (SSH)・国際交流等の取組
附属中学校の開校とともにスタートした洛北のSSH事業は今年度から新たに3年間、第5期の指定を受け、「探究し続ける科学技術フロントランナーを育成する中高一貫教育プログラムのデザインと一般化」のテーマのもと、研究開発に取り組んでいます。

●SHOOT Lab (旧研究室体験研修)
昨年まで夏季休業中に実施してきた研究室体験研修を、今年度から「SHOOT Lab」と名称を変更し、研究室での体験に加えて、事前学習・事後調査・発表も含めた課題研究プログラムに発展させました。また、参加対象を高校2年生のみではなく高校1年生から2年生に広げ、生徒が課題研究に触れる機会を増やしました。

本年度は1年生21名、2年生11名、計32名が京都府立大学・京都工芸繊維大学の6研究室のテーマに参加予定です。すでに校内での事前学習はスタートしており、生徒たちは文献調査や予備実験を行っています。昨年の研究室体験研修は新型コロナウイルス感染症の影響で途中から中止になってしまいました。リニューアルしたSHOOT Labの現地での活動はすべての日程で実施できればと考えています。

●サイエンスチャレンジ・サタデープロジェクト
サイエンスチャレンジは、放課後、長期休業中など、授業外の時間を利用して、さまざまな「科学」に挑戦する課外活動です。特別講義や実験講座はもちろん、SHOOT Labや校外施設へのバスツアー、複数の教科科目の連携講座、オンラインミーティングを活用した講座や大学・研究所との連携講座などさまざまな取り組みを実施しています。
サタデープロジェクトは学年や教科の枠を超えた多様な活動を行うことで、

校と共有すべく、府立高校の先生方と洛北高校でコミュニティを立ち上げました。このコミュニティ内でこれまでのSSH指定の成果を普及するとともに、府内の自然科学に関する課題研究のより一層の発展を洛北高校が担っていきます。

●洛北高校「グローバル探究プログラム」

洛北高校では、これからのリーダーに必要なとされる「実務力」、「展望力」、「発信力」を養うため、渡米を含む教育プログラムとして「グローバル人材育成プログラム」を実施して参りました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外での活動が制限され、満足いくプログラムが実施できなくなりました。これを受け、昨年度から「グローバル探究プログラム」と名称を変更し、オンラインでのアメリカの大学教授の特別講義や海外の学生との意見交流を通して、これからのグローバル社会で活躍する人材育成の取組を行っています。英語力向上はもちろん、SDGs等を踏まえた社会的課題やグローバル課題に対する問題解決のアイデア立案を通じて、問題解決能力や企画立案能力、プレゼンテーション能力を伸ばす内容となっています。今年度は生徒23名の参加が決定しており、世界に視野を広げ、創造力を発揮し、社会に貢献したいという人材の育成を目指しています。



令和4年度「グローバル探究プログラム」の第1回研修の様子

●Global Classmates 2022の採択

「Global Classmates 2022」に洛北高校が採択されました。本プログラムは、アメリカの同世代の高校生とオンラインで交流するプログラムです。全国で38校のみという厳しい選抜でしたが、昨年度に引き続き2年連続で洛北高校が採択されました。

昨年度に参加した生徒のうち、青山更梨さんはGlobal Classmates Summit 2022日本代表枠8名の中の1人に選出され、アメリカ代表8名と今年の夏、合計12日間オンラインで密に交流するプログラムに参加します。
今年度のGlobal Classmates 2022の参加者は28名で、先輩の活躍に続くべく、異文化交流を通じてグローバルな素養を身につける準備を進めています。実りある活動となることを期待しています。

令和4年度人事異動

京都府立洛北高等学校・京都府立洛北高等学校附属中学校

転出者・退職者					転入者・新任者						
職名	教科等	氏名	よみがな	新任校等	備考	職名	教科等	氏名	よみがな	前任校等	備考
校長		山本 康一	やまもと こういち		退職	校長		川口 浩文	かわぐち ひろふみ	鳥羽高	
副校長		川津 英昭	かわつ ひであき	菟道高		副校長		藤田 五樹	ふじた いつき	府教委	
首席副校長		板津 吉彦	いたづ よしひこ	京都八幡高		首席副校長		田中 秀二	たなか ひでじ	洛北高	
教諭	国語	吉岡 伸治	よしおか しんじ		再任用	教諭	国語	吉岡 伸治	よしおか しんじ		再任用
教諭	国語	古川 奈保子	ふるかわ なおこ		再任用	教諭	国語	古川 奈保子	ふるかわ なおこ		再任用
教諭	地歴・公民	岩城 達哉	いわき たつや		退職	教諭	地歴・公民	山本 貴志	やまもと たかし		新規採用
教諭	地歴・公民	酒井 伸哉	さかい しんや		退職	教諭	地歴・公民	糸井 剛志	いとい たけし	嵯峨野高	
教諭	地歴・公民	谷口 温司	たにぐち あつし		再任用	教諭	地歴・公民	谷口 温司	たにぐち あつし		再任用
教諭	数学	吉本 知史	よしもと さとし	朱雀高		教諭	数学	北尾 順子	きたお じゅんこ	嵯峨野高	
教諭	数学	太田 恵一	おおた けいいち		再任用	教諭	数学	太田 恵一	おおた けいいち		再任用
教諭	数学	林 慶治	はやし けいじ		再任用	教諭	数学	林 慶治	はやし けいじ		再任用
教諭	理科	田中 秀二	たなか ひでじ	洛北高附属中		教諭	理科	浅見 浩史	あさみ ひろし		新規採用
教諭	理科	川本 晋	かわもと すすむ		再任用	教諭	理科	川本 晋	かわもと すすむ		再任用
教諭	保健体育	西村 純	にしむら じゅん		退職	教諭	保健体育	西村 純	にしむら じゅん		再任用
						教諭	芸術(音楽)	相馬 光穂	そうま あきほ		新規採用
教諭	芸術(美術)	小野 啓亘	おの ひろのぶ		再任用	教諭	芸術(美術)	小野 啓亘	おの ひろのぶ		再任用
教諭	芸術(書道)	増川 陽子	ますかわ ようこ		退職	教諭	芸術(書道)	増川 陽子	ますかわ ようこ		再任用
教諭	英語	山口 泰史	やまぐち やすし	鴨沂高		教諭	英語	渋谷 善史	しづたに よしふみ	鳥羽高	
教諭	英語	中野 滋普	なかの しげのぶ	高校教育課		教諭	英語	上田 大樹	うへだ だいき		新規採用 (前任教諭)
教諭	家庭	並川 幸子	なみかわ さちこ		再任用	教諭	家庭	並川 幸子	なみかわ さちこ		再任用
教諭	国語	佐藤 誠治	さとう せいじ	男山東中		教諭	国語	萩原 由香	はぎわら ゆか	南城陽中	
養護教諭		堀井 登志美	ほりい としみ	桂高	再任用	養護教諭		山本 佳子	やまもと よしこ		新規採用
常勤講師	芸術(音楽)	相馬 光穂	そうま あきほ								
常勤講師	英語	田中田 尚子	たなかだ なおこ		育休代替	常勤講師	英語	清水 陽子	しみず ようこ		育休代替
						指導員		小畑 順二	おばた じゅんじ		再任用

生徒の知的好奇心を高めることを目的に、年間4回土曜日に実施しているもので、サイエンスチャレンジ企画に加え、語学・文学・経済学についての講義やワークショップ、校外見学ツアーなどを実施しています。
生徒の興味関心や主体性を伸ばすべく、先生方の趣向を凝らしたさまざまな企画が予定されています。

●「洛北ラグランジュの会」を毎月開催

「数学好き」という中学生・高校生を対象に、京都大学名誉教授である上野健爾先生と洛北高校をオンラインでつなぎ、毎月1回「ラグランジュの会」を開催しています。現在は、府立中高一貫教育校からも参加者を募り、取組の幅を広げています。参加生徒の習熟度に合わせて講義内容を決め、講義の進め方も数学的な考察方法を自然と身につくようにプログラムしていただいております、とてもExcitingな取組となっています。

●課題研究の成果を校外で発表

課題探究Ⅱの授業で取り組んだ研究成果をまとめて校外で発表する場面が増えてきました。昨年度は以下のような成果がありました。今年度の課題探究の授業内でもさまざまなテーマに基いて課題研究を行っています。先輩に続いて素晴らしい成果が得られることを期待しています。

○全国SSH生徒研究発表会 出場
丸晴樹・関子龍・宗野真幸・高畑倫太郎・山崎遼平

○東京理科大学主催 第12回 坊っちゃん科学賞
入賞 徳田陽向・小島輝・尾崎藍・擣木伽弥・大津壮吾
佳作 丸晴樹・関子龍・宗野真幸・高畑倫太郎・山崎遼平
奨励賞 志茂和香・中嶋智織・松本諒子

○2021年 繊維学会秋季研究発表会 高校生セッション
最優秀賞 田籠心太郎・今吉嶺太・田中優佑・森下龍琉
優秀賞 中馬千陽・田中杏佳・久森優心・瀬川七海

●京都Scienceコミュニティ始動

これまでのSSH指定による研究開発や課題研究のノウハウを京都府立高

「女子ハンドボール部が全国選抜で優勝！」

今年の3月、愛知県で開かれた第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会で、女子ハンドボール部が優勝。14年ぶり4度目の栄冠に輝きました。

初戦は大差で勝利したものの準決勝までは3点差以内の接戦の連続。石川県代表の小松市立高校と対した決勝戦も、残り4秒でシュートを決めての勝利という、粘り強さを発揮しての頂上制覇でした。主将の田中志織さん（スポーツ専攻3年）は「常に強気のプレーでチームメイトを鼓舞するようにした」と自らのキャプテンシーを振り返り、副主将の小川優花（同3年）さんは「負ける気がしなかった」と強気で臨めた試合内容に満足。

洛北の女子ハンドボール部は、平成6年に全国高校総体で初優勝して以来、国体・全国選抜でも優勝を重ね、過去2年連続で高校三冠（選抜・インターハイ・国体いずれも優勝）に輝くなど、強豪チームとして名を馳せてきました。昨年の東京オリンピックでは、男子も含めて先輩3人を日本代表選手として送り出しています。

全国選抜の優勝は、新年度の直前で新しいメンバー編成になって初めての全国大会、通常とは違ってコロナ禍で対外試合ができません練習時間も制限されるなか「練習試合で経験を積み上げることができた」と田中さん。続く京都府予選、近畿大会でもチームは優勝、インター



ハイでは8強入りを果たしました。「天狗にならず、常に挑戦者として臨め」との西村純監督の言葉を肝に銘じて、チームはますます進化を目指していきます。

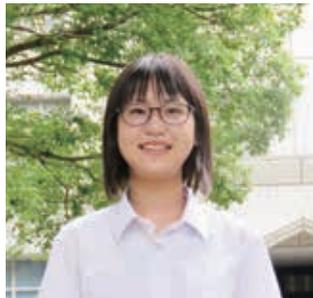
「グローバル・クラスメート・サミット」に初参加

「国際的な視野を持つ次世代リーダーの育成」を目的として日本とアメリカから、各6人程度の高校生が参加し、オンラインで交流するサマープログラム「グローバル・クラスメート・サミット2022」。その日本代表の1人としてサイエンス科2年の青山更梨さん（さらり）が選出されました。これは「グローバル・クラスメート・サミット2021」に参加した全国38校のなかから洛北高校が初めてサミット参加校に選ばれ、出場者を募集したものの、応募書類の審査、日本語と英語によるビデオ面接で好成績をおさめた青山さんが、日本代表8人のうちの1人に見事決定しました。

青山さんは、動物の認知や行動など生体に興味があり、大学に進んで研究を重ね、将来は博物館の学芸員の仕事をしたいとのこと。「海外の研究」との交流に英語は不可欠」と、参加する意義を明確にとらえています。

サミット参加者は、医療、経営、建築、デザイン、環境科学など、さまざまな分野に興味がある、多様な日米の高校生たち。「国際理解のことも学びたいし、理系の知識も広げられたら」と、青山さんは意欲的です。

1日3、4時間、12日間にわたるプログラムでは、参加者同士のチームビルディングや、異文化理解、日米関係など世界の課題や将来について、第一線のプロたちとの意見交換の場も用意されています。楽しみなのは、いま一番興味があるダンゴムシについての7分間プレゼンテーション。日本語と同じくらいに英語でまとまった発表ができたなら、と準備中です。



あかねの窓

「京都サンガ監督に曹貴裁氏が就任、快進撃！」

昨年、湘南ベルマーレの監督から地元の京都サンガF.C.の監督に就任された曹貴裁氏（洛北36期）。就任後は湘南監督時代と同様の、ミスを割り切りアグレッシブにトライする攻守一体の堅守速攻、いわゆる「湘南スタイル」を実践して、12年間J2に低迷していたチームを就任1年目でJ1に昇格させ、京都サンガは12年ぶりのJ1復帰を果たしました。

2022年J1リーグ戦の真ただ中の現在は、7勝9敗8引き分けと一進一退の熱い闘いを繰り返しています。（8月6日までの戦績、残り10戦）

また「第102回天皇杯」でも7月に京都サンガが栃木SCを突き放して8強に入り、9月の準々決勝で東京ヴェルディと対戦します。天皇杯は正式名称を「天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会」といい、J1リーグ、リーグカップと並ぶ国内3大タイトルの一つに位置付けられていることから、その先の準決勝、決勝への躍進が期待されます。



「天皇杯」 栃木SC戦で決勝点を挙げる京都サンガ



京都サンガF.C.公式サイトより

ご存じですか？

京都府母校応援ふるさと事業

府立洛北高校・附属中学校へ

ご寄附をお願いします！

洛北高校・附属中学校では、京都府母校応援ふるさと事業を活用し、学校の教育環境改善や学習支援を促進するために、みなさまからのご寄附を募っています。

寄附金

実質2,000円の負担で、一定の上限まで寄附できます。

部活動支援 ● 屋外コートやグラウンドの全天候化・人工芝化
文化系部活動の機器整備 等

学習活動支援 ● より専門的な学習・進路指導に係る講師の招聘、
環境整備 等

「京都府母校応援ふるさと事業」とは？

京都府教育委員会では、自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される「ふるさと納税」制度を活用し、府立学校の施設設備、教育環境等の充実を図ることを目的として寄附金を募集します。卒業生にかかわらず、ご自身でも寄附していただけます。各府立学校においては、これまでから魅力ある学校づくりに向けて様々な取組を実施しています。本事業は、こうした学校独自の取組を応援するという趣旨から、ふるさと納税を活用した制度として創設したものです。学校ごとに寄附金を活用した取組内容を設定しており、学校を指定して寄附していただけます。

納付方法は、「金融機関への振込」も、「クレジットカード（インターネット）」も御利用になれます。

*詳細は京都府教育委員会HP、本校HPをご覧ください。

第5号議案 同窓会役員の再任について

常任理事 谷口光男 (洛21)

高坂会長以下の令和4年度同窓会役員 (P50) および理事について、第2回理事会後に行われた回議において確認いただいた。

第6号議案 京一中150周年・洛北高校70周年記念事業の開催について

記念事業実行委員長 木下博夫 (洛10)

新型コロナウイルス蔓延のため記念祝宴は次年度以降に開催することとして、令和3年10月16日(土)に京都ホテルオークラ大宴会場「暁雲」にて記念式典を挙行了した。在校生については感染対策のため代表のみの参加となったが、西脇京都府知事、橋本京都府教育長をお迎えし、約150人の参加を得て開催するとともに、Webでの中継とオンデマンドによる事後配信を行うことができた (P5-6参照)。その他、令和3年度に実施した記念事業 (P9参照) と本年度に予定している記念事業は下記の通り。費用については令和3年度周年記念事業会計報告書 (P49) を参照。

[令和3年度]

- 記念クリアファイルの作製と配布 (在校生、式典参加者、寄付者に配布)
- 記念式典DVDの作製と配布 (在校生、希望する同窓会員に配布)
- 在校生を対象とした学内でのOBOGセミナー開催 (9月開催予定であった4講座は緊急事態宣言発令中のため中止となった)
- 学内資料展示「目で見てナットク! 京一中と洛北高」展開催 (11月15日~19日)
- 同窓会保管資料の修復
- 記念序曲『洛北幻想 葵 -Aoi-』が完成 (作曲:阿部勇一氏、公開収録で初演の予定)
- 学校設備の寄贈 (視聴覚教室、コモンホール、2階会議室のプロジェクター計3台を寄贈)

[令和4年度]

- 記念祝宴の開催 (12月11日、予算は概算400万円、300名の参加を想定して試算)
- 吹奏楽部による『洛北幻想 葵 -Aoi-』の公開収録と使用楽器 (和太鼓ほか) の寄贈 (予算概算:80万円) 以上の詳細はP10~11参照のこと
- 同窓会保管資料の追加修復 (予算概算:26万円)
- 同窓会保管の視聴覚データのデジタル化 (予算概算:18万円)
- 校庭中庭の同窓会記念モニュメント周辺の整備と一中柳の保全作業 (予算概算:17万円)

新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、記念祝宴には多くの同窓生に来ていただけることを期待している。

第7号議案 あかね第59号の広告掲載料を半額とする件

常任理事 平塚 泉 (洛22)

引き続き新型コロナウイルス感染による影響を鑑み、また次年度以降の広告掲載支援の期待を込めて「あかね」第60号 (本誌) の広告掲載料についても半額とした。(令和4年度予算報告参照)

第8号議案 第69回総会の開催について (既述 P44参照)

常任理事 谷口光男 (洛21)

以上

京一中洛北高校同窓会 第69回総会について

令和4年度の第69回総会は、12月11日(日)に開催予定の京一中150周年・洛北高校70周年記念祝宴に併せて開催する予定です。そのため総会の時間が限られていますので、総会において行う報告事項を事前に掲載させていただきます。ご質問、ご意見等につきましては、あかね第60号に同封の連絡ハガキ、もしくは同窓会ホームページ (<https://kyo1c-rakuhoku.com>) の「お問い合わせ」にてお聞かせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第69回総会での報告事項

令和4年度第2回理事会 (7/2開催) およびその後の理事への回議で承認された議案は、以下の通りです。

第1号議案 会務報告

常任理事 谷口光男 (洛21)

令和4年度定例理事会開催記録については、本部だより (P54) を参照。

そのほか定例の会議として、毎月の常任理事会兼「あかね」編集会議と必要に応じて記念事業実行委員会を開催し、新型コロナウイルス感染状況に伴う対応や記念祝宴等の記念事業に関する事案を協議した。

第2号議案 令和3年度会計報告

常任理事 山川富士夫 (洛25)

令和3年度会計報告書 (P48-49を参照)

第3号議案 令和4年度予算報告

常任理事 山川富士夫 (洛25)

令和4年度 (令和5年3月期決算) 予算 (単位:千円)				R4・4・1 現在			
科 目	入 入			支 出			
	R3年度 決 算	R4年度 予 算	決算・予算 増 減	R3年度 決 算	R4年度 予 算	決算・予算 増 減	
前年度繰越金	14,393	12,924	▲1,469	「あかね」発行費	2,937	3,000	63
入 会 金	801	840	39	総 会 費	855	860	5
令和3年3月卒業(280人)				補 助 費	155	50	▲105
会 費 (既会員分)	4,690	4,500	▲190	出 張 費	0	50	50
うち 年度会費	1,350			会 議 費	20	50	30
前納 (3年分)	1,012			記 念 品 費	148	150	2
前納 (5年分)	2,304			事 務 用 品 費	362	400	38
その他前納	24			通 信 費	1,962	2,100	138
うち 一中会費	172			人 件 費	2,509	2,600	91
教職員会費	2			慶 弔 費	11	15	4
洛北会費	4,516			福 利 厚 生 費	12	15	3
会費 (R3年3月卒業269人)	1,883		▲1,883	水 道 光 熱 費	221	250	29
内訳 当年度分	470.75		▲471	支 払 手 数 料	314	360	46
2年度分	470.75		▲471	雑 費	43	50	7
3年度分	470.75		▲471	旅 費 交 通 費	250	280	30
4年度分	470.75		▲471	備 品 費	143	200	57
会 費 (前受金勘定)	1,869	1,869	0	諸 会 費	0	30	30
令和4年3月卒業 (267人)	0			ま-ムへ'-シ' 作成料	0	0	0
会 費 (前受金勘定)		1,960	1,960	会 費 (前受金勘定)	1,883		▲1,883
令和5年3月卒業 (280人)				令和3年3月卒業 (269人)			
総会出席会費	0	0	0	会 費 (前受金勘定)	0	1,869	1,869
広告掲載料	1,101	1,000	▲101	令和4年3月卒業 (267人)			
寄 付 金	718	0	▲718	予 備 費	0	200	200
雑 収 入	8	0	▲8	周年記念事業積立金へ	773	0	▲773
販 売 費	4	10	6				
仮 受 金	55	0	▲55				
収 入 計	11,129	10,179	▲950	支 出 計	12,598	12,529	▲69
				次 年 度 繰 越 金	12,924	10,574	▲2,350
収 入 合 計	25,522	23,103	▲2,419	支 出 合 計	25,522	23,103	▲2,419

第4号議案 監査報告

監事 小林宏史 (洛10)

令和4年6月30日同窓会事務局にて、河村澄子監事 (洛22) とともに会計監査を行った。監査の結果、保管・保存も含め会計処理に間違いがないことを確認した。

会費納入のご協力をお願いします

京一中洛北高校同窓会は会員相互の友情、親睦を深め、母校の発展を図ることを目的としており、下記のような業務および活動支援を行っています。その運営基盤となる同窓会費は年々減少しており、誠に憂慮すべき事態となっています。

昨秋、コロナ禍にもめげず盛会のうちに開催できました周年事業の成果を踏まえ、2人のノーベル賞受賞者をはじめとする優れた先達を数多く輩出した名門校の歴史と伝統を受け継ぐべく、現在の洛北高等学校がますます発展していきますよう、同窓会としても各方面から支援していきたいところです。

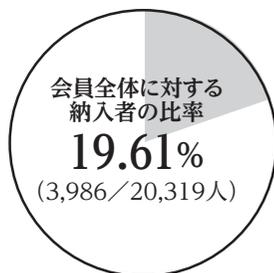
同窓会運営の厳しい現況をご考慮いただき、いま一度、会費納入のご協力をお願い申し上げます。すでに納入いただいている同窓会員には、ご友人、同期生、部活同輩・後輩など、関わりある同窓の方々への呼びかけをお願いいたします。

○同窓会の業務、活動支援

- ・会員情報の管理、名簿の維持管理
- ・支部総会、学年同窓会、部活OB会の支援
(案内状印刷・宛名印刷・発送)
- ・同窓会誌「あかね」の発行および発送
- ・ホームページの運営・管理
- ・本部総会の開催
- ・会員に関連する資料の管理
- ・母校への支援(御祝金、横断幕材料費など)

○納入状況

令和3年度現在



(内訳)

- 京一中卒業生 13.21% (106/ 802人)
- 洛北高校卒業生 19.88% (3,880/19,517人)
 - ・洛北高校 (1~30期) 22.19% (2,175/ 9,799人)
 - ・洛北高校 (31~60期) 4.09% (284/ 6,939人)
 - ・洛北高校 (61~71期) 51.13% (1,421/ 2,779人)

◆会費

単年度会費	2,000円
3年前納会費	5,500円
5年前納会費	9,000円

※平成31年3月以降の卒業生には4年分(7,000円)を卒業時に前納いただいています

◆振込口座

①ゆうちょ銀行
01050-4-1043

※同封の払込取扱票をご利用ください

②京都銀行下鴨支店(142)
普通預金 19950

口座名義:
京一中洛北高校同窓会
理事長 三島康之
(みしま やすし)

①これまで、同封の「払込取扱票」で払い込んでいただくと払込手数料はかかりませんでしたが、2022年1月より現金でのお払込みには(窓口・ATMとも)110円の手数料(加算料金)が必要となりました。ゆうちょ口座から通帳またはカードで払い込んでいただくと、手数料はかかりません(必ず同封の「払込取扱票」を利用してください)。

②銀行振込みの方は必ず封筒右下の卒業年度を明記してください。

◆同封の払込取扱票を使用いただけます。

④「むかし京都の一中生」(送料込) 3,000円

⑤「われら自由の学び舎に育ち」(送料込) 2,500円

⑥ 150・70周年記念事業寄付金(1口3,000円)

◎「あかね」60号に
寄付いただいた同窓会員芳名

藤村 和正(洛北4期)
家森百合子(洛北9期・家森クリニック)

資料提供のお願い

京一中・洛北高校のOB諸氏には、かねてより資料の寄贈をお願いし学生時代の貴重な資料も少しずつ集まりつつありますが、まだまだ不足しています。

先輩諸氏の高齢化にともなってこれらの貴重な資料が散逸し喪失する恐れはますます高まっています。京一中・洛北高校に関連する資料(教科書、機関紙、アルバム、学生時代や旧校舎の写真、物品など)をお持ちの方は、ぜひ同窓会にご寄贈いただきますようお願いいたします。とりわけ戦前・戦中の中は同窓会にもほとんど残されておられません。OB諸氏にとっても思い出多き品とは思いますが、母校資料の保存にご協力いただければ幸甚に存じます。ご連絡・お問合せは同窓会事務局まで。



▲京一中時代の学生帽と制服のボタン

◆とりわけ寄贈をお願いしたい資料

学友会誌・同窓会誌	卒業アルバム	
「学友会誌」第1号～第5号 (明治30年前後発行?)	洛北2期(昭和28年3月卒業)	洛北8期(昭和34年3月卒業)
同窓会誌「あかね」第3号 (昭和40年10月発行)	洛北3期(昭和29年3月卒業)	洛北9期(昭和35年3月卒業)
同窓会誌「あかね」第7号 (昭和44年10月発行)	洛北4期(昭和30年3月卒業)	洛北10期(昭和36年3月卒業)
	洛北7期(昭和33年3月卒業)	洛北14期(昭和40年3月卒業)

余談 一京一中学友会誌を探して一

昨年、同窓会が保管する明治から昭和初期の京一中の学友会誌など、劣化の著しいものについて修復(欠損部や背表紙の繕い・補強、今後の長期保存のための脱酸性化処理)を行ったことは「あかね」の前号(第59号)でお伝えしたとおりですが、修復にあたって欠落していた「学友会誌」第1号～第5号の所在をあらためて検索しました。

手掛かりは、当時の学友会誌の“寄贈及交換雑誌”を紹介した記事から、北は札幌中學校から秋田県立中學校、東京府第一中學校、南は沖縄県立中學校まで公立・私立を問わず計40校(同窓会)を拾い出し、現在に繋がる学校(同窓会)を調べて問い合わせました。残念ながら探し求める学友会誌の発見には至りませんでしたが、これを機に今後も互いに資料情報の交換を約することができました。中には母校の学友会誌を紐解いて、両校の寄贈交換が始まった年を詳しく調べられた学校もありました。



▲修復された学友会誌

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)周年記念事業 会計報告書

収入の部			支出の部		
科目	金額	適用	科目	金額	適用
前年度繰越金①	18,306,395	令和3年3月期末			
			記念品費	600,000	プロジェクター3台 本校へ寄贈
寄付金	718,000	一般会計寄付分振替	通信費	3,714	講師依頼状・式典資料報道関係発送他
寄付金	54,500	京一中関連出版販売等分振替	手数料	6,545	振込手数料
その他売上	0	京一中関連出版 直販	事務用品費	6,148	発送用封筒・マイクロSDカード他
			会議費	34,344	各部会 会議費等
			式典部	2,361,923	式典会場費・講演費用・DVD等他
普通預金利息	92	普通預金利息(京銀)	OBOGセミナー	229,890	講師交通費・web機材他
			資料部	369,362	京一中考古資料修復・展示会費用他
定期預金利息	103	定期預金利息(中信)	校歌 編曲料	150,000	式典時 校歌演奏編曲委嘱料
収入小計②	772,695	寄付金～預金利息 計	支出小計④	3,761,926	記念品費～雑費 計
			翌年度繰越金⑤	15,317,164	=③-④
			前年対翌年繰越金差	△ 2,989,231	
収入合計③	19,079,090	=①+②	支出合計	19,079,090	

科目	金額	金融機関
現金	34,775	
普通預金	9,216,167	京都銀行
定期預金	6,066,222	京都中央信用金庫
合計	15,317,164	翌年度繰越金⑤

同窓生限定販売

京一中記念誌購入のご案内



『われら自由の学び舎に育ち』
(A5判/口絵カラー/402頁)
平成30年12月30日刊行

同窓会特別価格

2,500円(税・送料込!!)



『むかし 京都の一中生』
(A5判/口絵カラー/409頁)
平成30年1月25日刊行

3,000円(税・送料込!!)

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 会計報告書

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金①	14,393,048	令和3年3月期末	「あかね」発行費	2,936,545	印刷・丁合・製本代・送料・取材費等
			総会費	855,124	「あかね」紙面掲載、費用分担分計上
入会金(R2年度卒業)	801,000	令和4年3月 卒業生267人	補助費	155,292	各支部・東京オリンピック出場選手激励
			出張費	0	北海道・関東・東海支部
			会議費	19,927	周年記念事業委員会・理事会など
会費(既会員分)	4,690,000	1,119人	記念品費	147,955	卒業生記念品、同窓会賞
うち 年度会費	1,350,000	675人	事務消耗品費	362,073	事務消耗品費・会費払込票印刷代など
前納(3年分)	1,012,000	184人	通信費	1,961,624	会費納入再依頼通信費・一般通信費
前納(5年分)	2,304,000	256人	人件費	2,508,600	アルバイト料(常勤3人) 臨時等
その他	24,000	4人	慶弔費	11,000	御供花(1件)
うち 一中会費	172,500	60人	福利厚生費	12,193	事務室用茶葉・コーヒー代等
教職員会費	2,000	1人	水道光熱費	221,352	ガス・水道・電気代
洛北 会費	4,515,500	1,058人	支払手数料	314,515	あかね封入・仕訳作業・会費振込手数料他
			雑費	43,009	卒業アルバム代(高・中)・プリンター・封緘機調整他
会費(R2年度卒業)	1,883,000	令和3年3月 卒業生 269人	旅費交通費	250,490	理事会出席・アルバイト交通費
			備品費	142,596	ネットワーク機器・スキャナー他
会費(前受金勘定)	1,869,000	令和4年3月 卒業生 267人	諸会費	0	各地域会等会費
総会出席会費	0	周年記念事業延期に伴い「あかね」紙面	会費(前受金勘定)	1,883,000	令和3年3月 卒業生 269人
広告掲載料	1,101,500	「あかね」広告代…コロナ考慮で半額	予備費	0	
寄付金	718,000	会員の皆さまからのご厚志等	寄付金 記念事業積立金へ	772,500	京一中150年洛北高校70年記念事業へ
雑収入	7,500		支出計④	12,597,795	「あかね」発行費～記念事業積立金へ 計
販売費	4,500	下鴨校舎史、徽章、レコード、カセットほか			
仮受金	54,500	京一中関連出版販売等			
会計収入計②	11,129,000	入会金～仮受金 計			
			次年度繰越金⑤	12,924,253	=③-④
収入合計③	25,522,048	=①+②	支出合計	25,522,048	

一般会計 現預金残高(R4・3・末現在)		京一中150年・洛北高校70年記念事業 預金残高	
現金	27,536	現金	34,775
普通預金	2,741,509	普通預金	9,216,167
ゆうちょ銀行	10,155,208	定期預金	6,066,222
合計⑤	12,924,253	合計	15,317,164

R3年度利息入金分

内(92円)

内(103円)

令和4年度定例理事会開催記録

第1回 5月14日(土) 午前10時 コモンホール
 (京都府緊急事態措置下のため日程変更、メール回議にて第69回総会を12月11日(日) 京都ホテルオークラで開催し、当日に記念事業の祝宴を行うことを決定) 川口浩文新校長による母校近況報告、令和4年度年間スケジュールの提案と決定、同3年度決算・監査報告、「あかね」60号発刊スケジュール・構成案確認、令和4年度予算案、「京一中150周年・洛北高校70周年」記念事業の提案と承認、蔣池信男常任理事の新任を承認、役員任期の確認、事務局閉局日についての提案など

第2回 7月2日(土) 午前10時 コモンホール
 川口校長による母校近況報告、「あかね」第60号編集・広告応募状況確認、周年記念事業(祝宴、記念曲の事前収録、祝歌)について報告承認、第3回理事会を総会・記念祝宴までに開催し最終確認を行うことを決定

◎令和元年度以降に頂いた寄付金につきましては、すべて記念事業の寄付金に組み入れさせていただきます。寄付者の芳名は記念事業終了後、「あかね」誌上で報告いたします。

去る8月6日、長きにわたって同窓会会務の中枢を担ってこられた谷口光男常任理事(洛北21期)が急逝されました。
 深くお悔やみ申し上げますとともに、当会への熱意と貢献に、心からの敬意と感謝を捧げます。
 合掌

令和4年8月

京一中洛北高校同窓会
 常任理事会・事務局一同



昨年10月記念式典にて

令 和 4 年 度	同 窓 会 役 員
会 長	高坂 節三(洛北4期)
副 会 長	加藤 幹雄(洛北5期)
同	横山 俊夫(洛北15期)
理 事 長	三島 康之(洛北14期)
同	川口 浩文(洛北高校校長)
特 別 顧 問	中岡 保彌(洛北11期)
常 任 理 事	三輪 新造(洛北11期)
同	蔣池 信男(洛北19期)
同	谷口 光男(洛北21期)
同	谷口 幸伸(洛北22期)
同	平塚 泉(洛北22期)
同	河原 敏明(洛北23期)
同	山川 富士夫(洛北25期)
同	西村 佳哲(洛北27期)
同	今西 拓人(洛北33期)
同	小林 宏史(洛北10期)
同	河村 澄子(洛北22期)

【60号編集委員】

平塚泉(担当理事・洛22) 遠山祥子(編集補助・洛20) 八田香津子(洛19) 小栢靖子(洛26) 倉部京子(洛29) 鍛冶ちか(洛50)、常任理事会

事務局倉庫で保管していた会員寄贈品について細目を取り始めています。洛北校歌のオリジナルピース、「あかね」表紙作品の原作のほか、鑑(あぶみ)といった珍しいものもありました。写真リストを作成して、今後HPなどで紹介したいと思っておりますので、ご期待ください。

(NK)

あかね第60号

令和4年9月26日発行
 発行所 京一中洛北高校同窓会
 〒606-0851
 京都市左京区下鴨梅ノ木町59
 京都府立洛北高等学校内
 電話・FAX 075-712-0375
 E-mail: dousoukai@kyo1c-rakuhoku.com
 URL: https://kyo1c-rakuhoku.com
 発行者 高坂節三
 印刷所 株式会社ティ・プラス 075-462-7889

〈母校卒業生限定〉
事務局スタッフ募集!

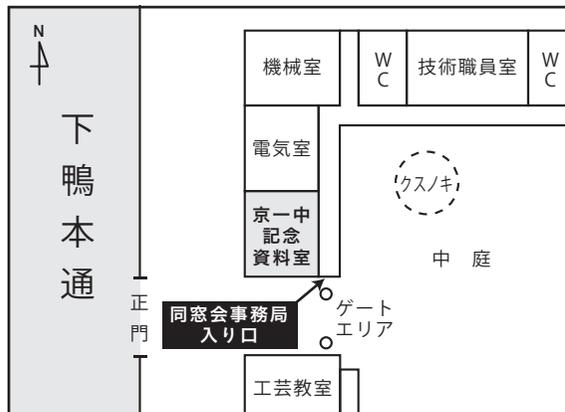
学年会開催のための案内状発送から名簿管理、イベント取材や冊子編集、資料管理などを通して母校卒業生のコミュニティづくりを支援する仕事です。
 興味のある方は、ぜひ一度事務局までお尋ねください。
 お待ちしています。

(勤務時間10時~16時、曜日その他はご相談)

TEL 075-712-0375

Webサイト制作、撮影、動画編集、ノベルティ印刷、雑誌編集、発送代行、グラフィックデザイン、コピーライト、セールスプロモーション、ブランディング、デジタルマーケティング、イベント運営

株式会社ティ・プラス
 〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16 TEL 075-462-7889 FAX 075-464-3923
 E-mail: info@tplus-group.co.jp https://tplus-group.co.jp





マグロ酒場ほんじょ屋：JR 錦糸町駅 南口 徒歩1分 (JRA 向い)
 モスバーガー住吉店：都営新宿線・半蔵門線、住吉駅A3 出口すぐ
 モスバーガー亀戸店：JR 総武線 亀戸駅 徒歩2分
 牛角錦糸町テルミナ店：JR 錦糸町駅 南口 徒歩1分
 牛角江戸川大杉店：環七通り、大杉2丁目交差点 (駐車場 30台)
 もつ焼き横丁ニシキ屋：JR 錦糸町駅 南口 徒歩2分



株式会社 ダウンタウンフーズ
 代表取締役 森田 正 (洛北 22回卒)

〒136-0073 東京都江東区北砂 3-4-33-506
 TEL : 03-3646-2232 FAX : 03-3646-2236
 E-mail : downtown@cl.cilas.net

焼い:くや・いちなん

焼肉料理はやめました。
 ランチや軽食ほか、一乗寺ビール
 などをご用意しています。
 サッカーのTV放映や音楽ライブ、
 屋上BBQなどもしています。
 ご予約お問い合わせは

☎075-721-6937

自家製のベーコンやソーセージを
 販売しています

営業時間
 11:30~14:00
 18:00~23:00
 水曜定休



屋上BBQは4~40名様ご予約いただけます

〒606-8114
 京都市左京区一乗寺北大丸町51
 電話 075(721)6937

孫 恵文(洛25)



高野店

処方箋調剤・第一類 OTC 販売薬局

(株) フジタ薬局

代表取締役 藤田 哲 (洛北 15回卒)

高野店 京都市左京区高野西開町 55-2
 TEL 712-7612 FAX 712-7624

小栗栖店 京都市伏見区小栗栖南後藤町 3-13
 TEL 572-5570 FAX 572-3970

石田店 京都市伏見区石田森東町 3-10
 TEL 571-1455 FAX 575-3813

調剤薬剤師募集中!

在宅介護訪問も行っております

漢検



文章検



高坂節三

(洛北4回卒)

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
 代表理事 会長

漢検 漢字博物館・図書館 館長

真空蒸着箔・ホログラム・転写箔一般 総合メーカー



株式会社 ニッカテクノ

本社工場

〒601-8177 京都市南区上鳥羽馬廻し5番地
 電話(075)671-3344(代表)

吉祥院工場

〒601-8351 京都市南区吉祥院這登西町41番地
 電話(075)671-0308

久御山工場

〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見86-1
 電話(0774)44-3598



本社

〒606-8152 京都市左京区一乗寺下り松町16番地
 電話(075)781-9458

久御山工場

〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井新荒見90-2
 電話(0774)43-6996

代表取締役会長 中山太一郎(洛北7回)

企画・設計・監理

株式会社 住建設計

会長 若野弘士 (洛北7回卒)

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 579-1
 山崎メディカルビル 6F
 TEL : 075-344-0500 / FAX : 075-344-0501
 mail : kyoto@jyuken-sekkei.co.jp
 HP : www.jyuken-sekkei.co.jp

耳鼻咽喉科

松岡医院

院長／松岡 秀樹 洛北10回

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	×	○	×	○	○
午後 4:30～ 7:00	○	×	○	×	○	×



左・田中西大久保町42
(東大路元田中上る100m・左京消防署南隣り)

☎781-2751



内科・消化器科・生活習慣病指導

三浦診療所

三浦 賢佑 (洛北9回卒)

電話 (075) 781-2528
E-mail fwga5847@nifty.com
京都市左京区下鴨本町12
(洛北高校前交差点 北東角) 1・2階

診療時間	月	火	水	木	金	土
一般診療 (予約制、急患は随時受け付け)						
9:00 ～12:00	×	○	○	○	○	○

往 診 (予約制、急患は随時受け付け)

日・祝日 休診

ミリア

アーティフィオーリ ミリア

造花

ポセリンアート・ハーバリウム
今井 京子

午前中の
レッスンは
OKです

営業時間 / 13:00～19:00 (不定休)
叡山電鉄修学院駅より徒歩3分
TEL・FAX:075-791-6115

ブログ公開中 造花ミリア 検索

今井設計 京都・東京 今井 秀明 (洛20卒)
TEL・FAX:075-791-6111 (代表)



京 悉 皆

久しぶりにタンスから出したキモノの困ったアレコレ
何を着れば？ 帯は何を合わせる？
草履が食い込んで痛い
父のキモノを直して着られるのかな？
こんな時……

株式会社 鶴屋
大橋 晃 (洛北28回卒)



hand-made ママワーク

パジャマ&インナー 製造販売

〒616-8208
京都市右京区宇多野福王子町9-10
Tel/Fax: (075)464-9688
URL: http://www.mamawork.info/

ハンドメイドクラフト
ママワーク 宇多野店
右京区宇多野福王子交差点西へ50m
Tel/Fax: (075)464-9077

代表 三島康之 (洛14回生)

京都心理臨床 研究所

元龍谷大学教授
臨床心理士
日本精神分析学会認定心理療法士

代表 寺井 さち子 (洛北16期)
(旧姓 上野)

京都市下京区河原町通松原上ル
清水町454-1 林ビル506
TEL. 090-1969-2561
https://www.kyoto-shinri.com

こころの悩み、まずはご相談下さい。

家族や対人関係
不登校、ひきこもり
自分自身に関する悩み
育児の不安



ひろた 耳鼻咽喉科医院

院長 廣田隆一 (旧姓:小松・洛北40回卒) 廣田真理子

ネット・電話で当日順番予約ができます (予約なしでも診察できます) 駐車場10台

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30 (土曜日は13:00まで)	●	●	●	—	●	●
午後 4:30～7:30	●	●	●	—	●	—

山科区西野山中鳥井町75-1

お問合せ 075-594-1133
予約専用電話 050-5577-7067

オンライン予約 ひろた耳鼻咽喉科 京都 検索

順番予約は、受診当日の朝7時より可能です

阪神高速「山科I.C.」すぐ 京阪バス「大石神社」バス停下車すぐ
地下鉄東西線「樹辻(なぎつじ)」駅下車 西へ徒歩15分



社会福祉法人アスクこども育成会

アスクあじま保育園



〒462-0013
名古屋市北区東味輪3-101-1
052-909-5711
※名鉄味輪駅より徒歩7分

アスク向日保育園

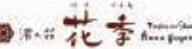
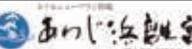
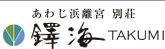
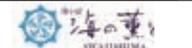
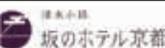
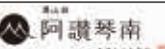


〒617-0001
向日市物集女町森/下1番地1
075-935-5533
※阪急京都路西口駅より徒歩5分

アスク西新井保育園



〒123-0841
足立区西新井4丁目18番7号
03-5647-8227
※日暮里・舎人ライン 谷在家駅より徒歩6分

 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷20 TEL 0799-23-2200 / FAX 0799-23-1200 http://www.newawaji.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>	 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷20 TEL 0799-23-2200 / FAX 0799-23-1200 http://www.newawaji.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>
 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1052-2 TEL 0799-22-0035 / FAX 0799-24-0035 http://www.yumesenkei.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>	 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1052-2 TEL 0799-23-0335 / FAX 0799-24-0035 http://www.yumesenkei.com/amahara/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>
 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1053-16 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.awajihanagoyomi.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>	 <p>〒656-0023 兵庫県洲本市小路谷1277-5 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.shimahana.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>
 <p>〒656-0024 兵庫県洲本市山手1-1-50 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.yumekaiyu.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで60分</p>	 <p>〒656-0542 兵庫県南あわじ市阿万吹上町1433-2 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.plazaawajishima.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで80分</p>
 <p>〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路970-81 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.awajihamarikyuu.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで50分</p>	 <p>〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路970-6 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 https://www.hamariyu-takumi.com/</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで50分</p>
 <p>〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1529-7 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 https://www.minatokoyado.com</p> <p>JR舞子駅から ハイウェイバスで50分</p>	 <p>〒605-0862 京都市東山区清水4-200 TEL:075-561-0061 / FAX 075-561-0075 https://www.saka-hotel.com/</p> <p>京阪祇園四条駅 から徒歩15分</p>
 <p>〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-13(六甲アイランド) TEL 078-857-7000 / FAX 078-857-7001 http://www.sheraton-kobe.co.jp/</p> <p>JR住吉駅から 六甲ライナーで9分</p>	 <p>〒708-0022 岡山県津山市山下30-1 TEL 0868-24-2111 / FAX 0868-23-1122 https://www.tsuyama-bettei.com/</p> <p>JR津山駅から 徒歩10分</p>
 <p>〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町1241-5 TEL 0877-75-3232 / FAX 0877-75-3235 http://www.kotahira-kadan.jp/</p> <p>高松自動車道・ 普通守ICより約15分</p>	 <p>〒766-0204 香川県仲多度郡まんのう町勝浦1 TEL (グループ電話予約センター):0799-22-2521 http://www.asanokotonomi.com/</p> <p>JR琴平駅より 琴平バスで35分</p>

ホテルニューアワジグループ 代表取締役 **木下 紘一** (昭和36年卒)



We build roads around the world.

日本に、世界に、
道をつくっています。

ワールド開発工業は、日本を含む
世界20以上の国で新たな道をつくっています。

人材募集中

WORLD KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
ワールド開発工業株式会社

〒381-0101 長野県長野市若穂綿内7484
TEL:026-282-3671 FAX:026-282-5803

秋津洲法律事務所

弁護士
本田陸士(洛北10回)

〒530-0047
大阪市北区西天満2-10-2
幸田ビル903
TEL (06) 6365-7257
FAX (06) 6365-5698

NISHIJIN 西陣染色株式会社
TEL (06) 6340-2621
FAX (06)6349-6323

代表取締役会長
池田 啓一郎

大阪市東淀川区相川1丁目5番20号 〒533-0007
(本社所在地:京都市北区)

株式会社オーエムサービス
コマーシャル 人材派遣・業務委託
一般労働者派遣事業許可番号般13-011426

代表取締役会長 折戸 勝 洛北6回卒

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町1-5 村山ビル4F
TEL. 03-6262-9092 FAX. 03-6262-9068
〒222-0024
横浜市港北区篠原台町31-1
TEL. 045-431-0890 FAX. 045-431-0861

CDI
Communication Design Institute

京都市中京区巴町83番地
株式会社シー・ディー・アイ
代表取締役 疋田 正博(洛12)

平塚泉土地家屋調査士事務所

平塚 泉 (洛22回卒)
登録番号 京都 546号 認定調査士 第213004号

〒604-0022
京都市中京区御池通室町西北角 ミサワ京都ビル7階
京都太陽合同事務所内
TEL (075) 211-6000 (代) FAX (075) 211-6120
E-mail: hiramedesu@aol.com
URL: http://www.taiyo-rna.jp/

京都高野竹屋郵便局

洛北高校27期卒業・西村佳哲
赤の宮神社さん前
〒606-8104
京都市左京区高野竹屋町31-2
075-781-9774

ご自宅で、京都銀行をご利用いただけます!!

□座開設 □残高照会 □振込振替 □投資信託 □外貨預金

まずはダウンロード▼
京銀アプリ

京都銀行 下鴨支店
TEL.075(721)2211



One Stop KYOYA GROUP



京家なら土地 テナント探しから
住宅設計
店舗デザイン
商業施設 社寺建築
ビル マンション建設まで
ワンストップで夢をかたちに現実に



三十三回卒 代表取締役 一級建築士 山内克己

京家 株式会社 **京家建設** 一級建築士事務所

本社 606-8223 京都市左京区田中東樋ノ口町 32-5
TEL 075-702-5900 FAX 075-705-3331
営業本部 604-8074 京都市中京区富小路通三条南入朝倉町 534
TEL 075-252-1400 FAX 075-252-0081
工場・倉庫 601-1247 京都市左京区大原野村町 130-2
URL <http://www.kyoyakensetu.com>
Email uk-@kyoyakensetu.com

- UNION.K** 建築デザイン研究所 【設計・監理】
- 不動産事業部** 【売買・賃貸・仲介・管理・買取】
- mo+o** もっと生活 【各種リフォーム工事・修繕工事】
- BAU** パウパウ広告制作所 【各種印刷物・WEB デザイン】
- Dot!** ソリューション事業部 【Yahoo!BB・フレッツ光・パソコンサポート】
- 東京海上日動** 【自動車保険・火災保険・地震保険・各種保険】
- 京都シャラガム** 【サービスアパートメント・マンスリーマンション運営】
賃貸マンションシリーズ パウハウス富小路三条、北白川、北山、御蔭

お問い合わせは (代表) 075-252-1400 までお気軽にどうぞ

京都府立京都第一中学校校歌

作詞 有川 武彦
作曲 ヨーゼフ・F・ワグナー
編曲 小宅 敏一

- 一 比叡の峰に あかねさす
光栄の光を 仰ぎては
高き理想を 遠く馳せ
加茂の川瀬に 澄む月の
真如の影を 眺めては
清き心を 研くかな
- 二 今し角ぐむ 新草の
生々の気に もゆる意気
声ものどけき 春鳥の
讃えて謳う 平和の譜
力あふる、若き子の
学園は自由の 永久の幸
- 三 神楽が丘に 咲く花の
匂う桜の 蔭にして
凝りし一中 魂の
高き頁を 繰り見れば
誇は残る 先人の
功に薫る 年代記
- 四 然あれ我等も 徒らに
去にし繁栄に 憧憬れて
行手忘る、ものならじ
いよ、歴史を 飾るべく
友よ健児よ 急ぎなむ
光の海に 帆を揚げて

※京一中創立50周年（大正九年）作詞当時の歌詞。二番は「学園は輝く」、三番は「神楽が丘の昔より」と歌われた時期があった。

洛北高等学校校歌

作詞 吉川幸次郎
作曲 芥川也寸志

- 一 千年の 森かげに
一頃の 緑もえ
真理をおもう ひとみいくばく
ここにむれ ここにつどえば
めじとおく くもはゆきかい
ふるきみやこの 北にして
あたらしきつち ここにあり
- 二 片おかに しぐれして
あめつちの ひそまれば
げにしづかなる 学よろこび
むねにみち むねにあふれて
ささめくは 鴨のながれか
ふるきみやこの 北にして
あたらしきつち ここにあり
- 三 うつくしき 世のために
まことある 世のために
たまきわるわが いのちめでつつ
友とおり 友とうたえば
ゆたかなる ゆくすえのゆめ
ふるきみやこの 北にして
あたらしきつち ここにあり

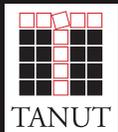
※中国の土地面積の単位。100畝（ほ）約10,000㎡

公共幸福

新しい経営はみんながしあわせであること

三十二回卒 代表取締役 山岸 暢

株式会社タナット www.tanut.co.jp



東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11 興和芝公園ビル3階
大阪支社 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-2-6 平松ビル2階
タナットネチャーLab
〒656-1732 兵庫県淡路市小田1784-1



患者本位の医療と介護
<http://www.kaiseikai.or.jp>

医療法人 回生会

理事長

出射靖生 (洛北13回卒)

〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1

日本医療機能評価機構認定病院

京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL(075)311-5121(代) FAX(075)314-1843

- 訪問看護ステーション かいせい
- 在宅介護支援センター 京都回生病院
- 訪問リハビリテーション かいせい
- 京都回生病院 デイケアセンター
- 京都回生病院 在宅介護支援事業所

介護老人保健施設

ケアセンター回生

京都府向日市物集女町中海道19番地の5 〒617-0001
TEL(075)934-6888(代) FAX(075)934-7513

- ケアセンター回生 デイケア
- 訪問看護ステーション第二かいせい
- ケアセンター回生 在宅介護支援事業所
- 向日市北地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション第二かいせい かいで出張所

〒617-0004 京都府向日市鶏冠井町堀ノ内21番地の1 ハイコーボ FUJITA 105号室 TEL(075)950-0802 FAX(075)950-0803

クリニック回生

京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051
TEL(075)255-0253 FAX(075)255-0254

皮膚科 / 美容皮膚科 / 小児皮膚科 / 内科(金曜AM) / 外科-整形外科(水曜PM) / リハビリテーション科

- 訪問診療
- 訪問リハビリテーション クリニック回生
- アンチエイジングリハビリテーション回生

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人真生会 向日回生病院

〒617-0001 京都府向日市物集女町中海道92-12 TEL(075)934-6881(代) FAX(075)933-9413

- 訪問リハビリテーション向日かいせい <http://shinseikai.jp.com>
- サテライトステーション長岡

〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目27 マンハイム長岡南棟301号 TEL&FAX(075)952-7317



京都回生病院



ケアセンター回生



クリニック回生

